

IXIL スtockヤード／波板タイプ 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本製品施工の際は、テラス本体に同梱の取付け説明書を併せてご使用ください。

●同梱されている取扱い説明書は必ず施主さまにお渡してください。

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●施工の前に

・ストックヤード1500タイプのテラス本体の施工の際に、垂木掛補強金具の取付けが必要です。

テラス本体の取付説明書とあわせて、施工前に本取付説明書の「テラス本体の施工」(P.22)をお読みください。

・600タイプの場合は積雪(新雪)20cmを超えない地域に設置してください。

1500タイプの場合は積雪(新雪)50cmを超えない地域に設置してください。

・建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。

・給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒のおそれがあります。

・本製品は、1階設置用です。2階以上には設置しないでください。

・本製品は躯体取付け専用のため、躯体から独立して設置しないでください。

・屋根材は、弊社指定品を使用してください。指定品以外を使用した場合、強風による屋根材の飛散や強度低下の原因になります。

・寒冷地では凍結破損を防ぐため、樋に排水路ヒーター等を取付けてください。

●基礎について

・基礎は当社指定寸法以上にしてください。

・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結材など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

・取付け前に調査を行い、地下埋設物(給排水管など)に影響をおよぼさないようにしてください。

・寒冷地では凍上線より下まで柱を埋込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。

・柱(屋根柱は除く)には水抜きできるよう、柱基礎には必ず砕石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴(φ6)をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。

▲ 注 意

- ・養生期間は十分(4日～1週間以上)にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。
- ・埋込柱内部にモルタルやコンクリートなどが入ったり、水がたまらないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- 取付け上について
 - ・みだりに改造・変更をしないでください。
 - ・取付け説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
 - ・柱の移動は弊社指定範囲内にしてください。
- 部材の固定
 - ・ねじ・ボルトは当社指定品の指定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - φ4ねじ：2.5N・m±0.5N・m(25±5kgf・cm)
 - φ5ねじ：3.0N・m±0.5N・m(30±5kgf・cm)
 - M8ボルト：12.5N・m±0.5N・m(125±5kgf・cm)
 - ・取付け後、ねじ・ボルトにゆるみ・ガタツキがないことを必ず確認してください。
- ※製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 絶縁処理について
 - ・アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。
- ※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- シーリングについて
 - ・シーリングは指定個所に必ず行ってください。
 - ・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。
 - ・シリコンシーリングを行う場合、アクリル板およびポリカーボネート板のシーリングはひび割れ防止のために、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
 - ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- 施工完了時に、ドアの開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

■シーリングメーカー

・信越化学工業(株)	シーラント72
・モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
・東レ・ダウコーニング(株)	SE960

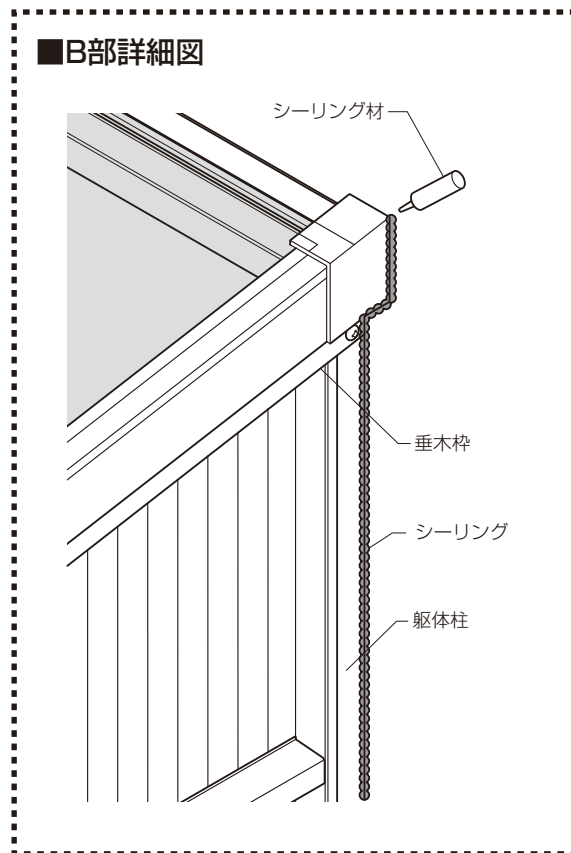
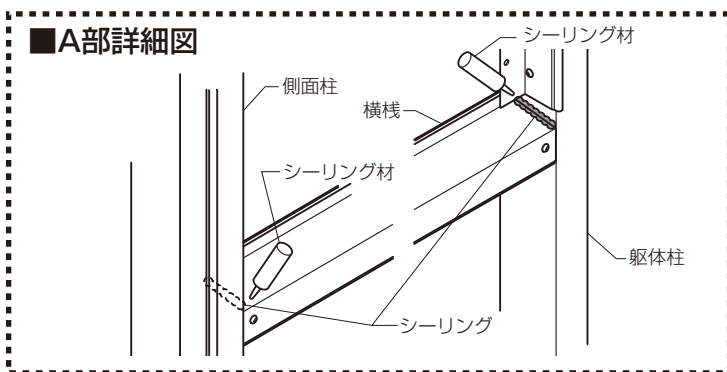
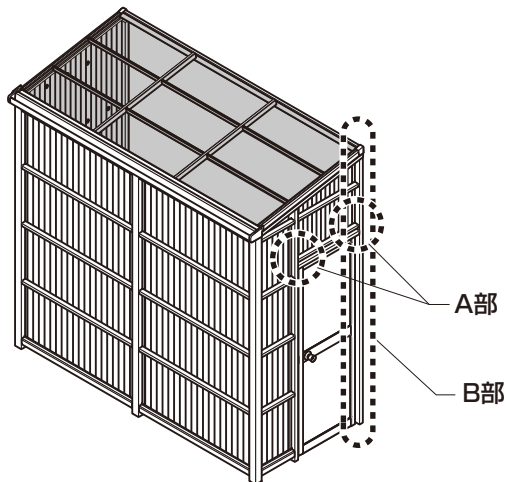
■取付け上のお願い

- 取付けは専門業者が行ってください。
- ボルト、ねじを増し締めしてください。
- 給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。
排気による塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
- 施工場所に寸法的に正しく納まるかどうか確認してください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付け説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付け説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。
シミやムラ等の外観不良の原因になります。

本製品の施工について

■シーリング処理

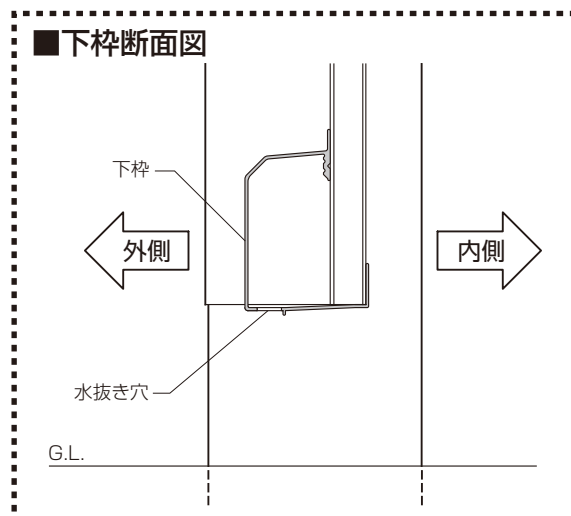
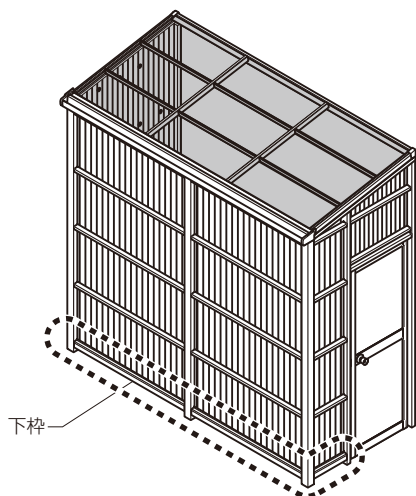
※施工時には下記の事項を厳守してください。



ポイント

- 指定の個所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の個所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

■下枠の水抜き穴の確保



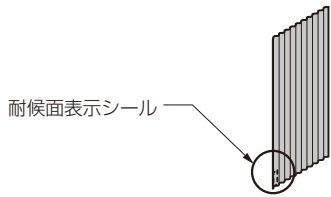
ポイント

- 下枠の下面には水抜き穴があります。下枠を埋め込んで水抜き穴をふさいだり、外側に壁をつくると内側に雨水が浸入するおそれがあります。
- 下枠とG.L.とのすき間をふさぐ場合は、必ず内側をふさいでください。

波板パネルの施工について

※施工時には下記の事項を厳守してください。

波板パネル表裏の確認



ポイント

- 波板パネルに張ってある耐候面表示シールの内容にしたがって、表裏を確認してください。表裏を反対に取付けると変色の原因になります。

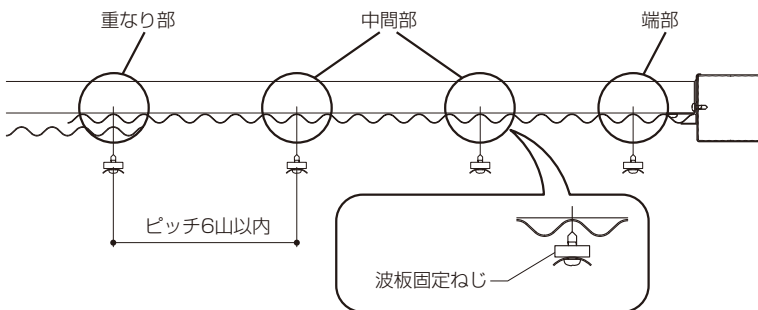
波板パネルの重ね代



ポイント

- 2.5山以上の重ね代を確保してください。重ね代が少ない場合、雨水浸入のおそれがあります。

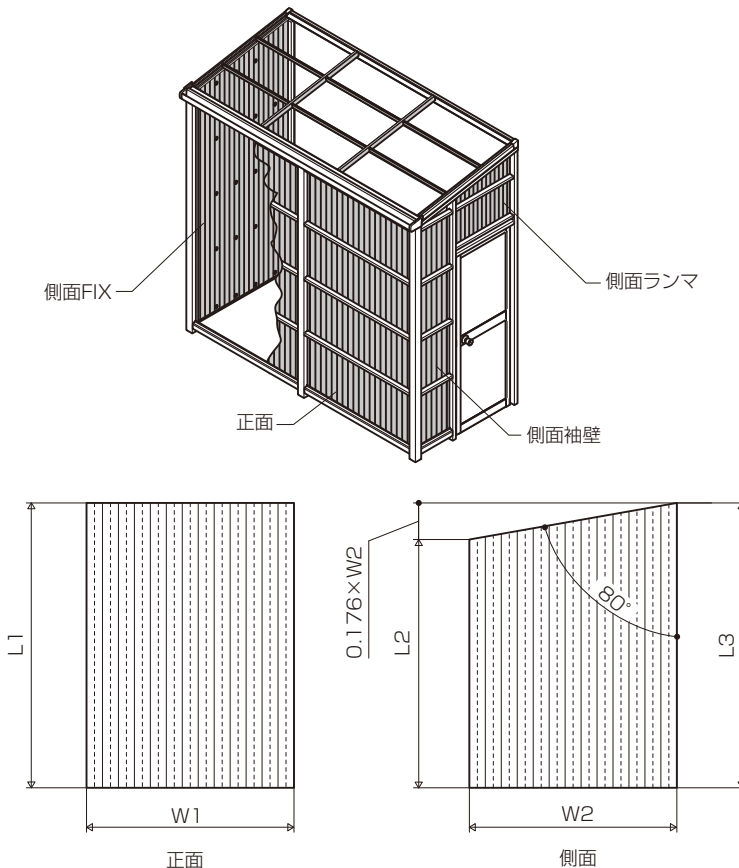
波板固定ねじの取付け方法



ポイント

- 波板パネルの谷部に固定してください。
- 下枠と全ての胴縁に固定してください。
- 波板パネルにφ7の下穴をあけてから固定してください。下穴をあけないと、温度変化で波板パネルに波打ちが発生しやすくなります。
- 波板パネルの固定位置は、端部と重なり部および、その中間部です。取付けピッチ6山以内を目安にしてください。

波板パネル必要寸法



波板パネル必要寸法

【正面 波板パネル必要寸法】

		L1	W1
正 面	1.0間	2346	1663
	1.5間		1248
	2.0間		1703

【側面 波板パネル必要寸法】

		L2	L3	W2
側 面	F I X	3R	2380	2521
		4R		798
		5R		1098
	袖 壁	6R	2380	2627
		4R		1698
		5R		2425
ラン マ	6R	798	2748	
	3R		253	
	4R		523	
	5R		664	
				717
				770
				822

ポイント

- 柱位置が標準施工位置の場合の加工寸法です。柱位置を移動した場合は、現物合わせで寸法確認してください。
- 波板パネル加工の際は、パネルの表裏を十分確認してください。

梱包明細表

●波板正面フレーム

名 称	略 図	員 数		
		1.0間	1.5間	2.0間
縦枠 内観右		1	2	2
縦枠 内観左		1	2	2
下枠		1	2	2
胴縁L		4	—	8
胴縁S		—	8	—


●波板正面フレーム (つづき)

名 称	略 図	員 数		
		1.0間	1.5間	2.0間
正面上部ふさぎ材		1	2	2
後付け柱用固定ボルト		—	2	2
φ4×13 ナベドリルねじ3種		15	28	30
φ5×13 ナベドリルねじ		19	39	39
波板固定ねじ		55	77	110
M8 平座金		—	2	2
M8 ばね座金		—	2	2
M8 六角ナット		—	2	2
取付け説明書	—	1	1	1
取扱説明書	—	1	1	1

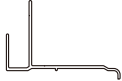

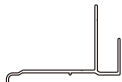








●波板側面フレーム 袖壁用

名 称	略 図	員 数					
		内観右用			内観左用		
		4尺	5尺	6尺	4尺	5尺	6尺
縦枠 支柱用		1	1	1	1	1	1
縦枠 側面柱用 内観右		1	1	1	—	—	—
縦枠 側面柱用 内観左		—	—	—	1	1	1
下枠		1	1	1	1	1	1
胴縁S		4	4	4	4	4	4
袖壁垂木枠 内観右		1	1	1	—	—	—
袖壁垂木枠 内観左		—	—	—	1	1	1
袖壁垂木枠押さえ材 内観右		1	1	1	—	—	—
袖壁垂木枠押さえ材 内観左		—	—	—	1	1	1

●波板側面フレーム 袖壁用 (つづき)

名 称	略 図	員 数					
		内観右用			内観左用		
		4尺	5尺	6尺	4尺	5尺	6尺
側面柱 袖壁用		1	1	1	1	1	1

●波板側面フレーム FIX用

名 称	略 図	員 数							
		内観右用				内観左用			
		3尺	4尺	5尺	6尺	3尺	4尺	5尺	6尺
縦枠 主柱用		1	1	1	1	1	1	1	1
縦枠 躯体柱用 内観右		1	1	1	1	-	-	-	-
縦枠 躯体柱用 内観左		-	-	-	-	1	1	1	1
下枠		1	1	1	1	1	1	1	1
胴縁L		-	-	-	4	-	-	-	4
胴縁S		4	4	4	-	4	4	4	-
垂木枠 内観右		1	1	1	1	-	-	-	-
垂木枠 内観左		-	-	-	-	1	1	1	1
垂木枠押さえ材 内観右		1	1	1	1	-	-	-	-
垂木枠押さえ材 内観左		-	-	-	-	1	1	1	1
躯体柱 FIX用		1	1	1	1	1	1	1	1

●波板側面フレーム ドア用

名 称	略 図	躯体側ドア 員数								支柱側ドア 員数						
		内観右				内観左				内観右			内観左			
		3尺	4尺	5尺	6尺	3尺	4尺	5尺	6尺	4尺	5尺	6尺	4尺	5尺	6尺	
縦枠 側面支柱用		-	1	1	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
縦枠 躯体柱用 内観右		-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	
縦枠 躯体柱用 内観左		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	
縦枠 側面柱用 内観右		-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	
縦枠 側面柱用 内観左		-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	-	-	-	
縦枠 ランマ用前枠側 内観右		1	1	1	1	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	
縦枠 ランマ用前枠側 内観左		-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	1	1	1	
縦枠 ランマ用躯体側 内観右		1	1	1	1	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	
縦枠 ランマ用躯体側 内観左		-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	1	1	1	
下枠		-	1	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
胴縁 S (袖壁用)		-	4	4	4	-	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
胴縁 S (ランマ用)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
垂木枠 FIX 内観右		1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
垂木枠 FIX 内観左		-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	
垂木枠 ドア 内観右		-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	
垂木枠 ドア 内観左		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	


●波板側面フレーム ドア用 (つづき)

名 称	略 図	躯体側ドア 員数								支柱側ドア 員数					
		内観右				内観左				内観右			内観左		
		3尺	4尺	5尺	6尺	3尺	4尺	5尺	6尺	4尺	5尺	6尺	4尺	5尺	6尺
垂木枠押さえ材 内観右		1	1	1	1	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-
垂木枠押さえ材 内観左		-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	1	1	1
側面柱 ドア用		-	1	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1
躯体柱 ドア用		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
横棧 B		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
横棧 D		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1


●波板部品セット

名 称	略 図	員 数								
		袖壁		FIX				ドア		
		4尺	5・6尺	3尺	4尺	5尺	6尺	3尺	4尺	5・6尺
垂木枠取付け金具		1	1	1	1	1	1	1	1	1
側面柱カバー		1	1	-	-	-	-	-	-	-
フレーム組付金具		-	-	-	-	-	-	2	2	2
クッション材 垂木枠用		1	1	1	1	1	1	1	1	1
クッション材 躯体柱用		-	-	1	1	1	1	1	1	1
スペーサー		-	-	1	1	1	1	1	1	1
雪おろし注意シール		1	1	1	1	1	1	1	1	1
φ4×13 ナベドリルねじ3種		17	17	17	25	25	25	20	36	36
φ5×13 ナベドリルねじ		11	11	11	11	11	11	4	15	15
波板固定ねじ		11	25	27	38	44	55	11	22	35
φ5×12 トラストッピンねじ3種		3	1	1	1	1	1	5	5	5
φ5×20 トラストッピンねじ3種		1	1	2	2	3	3	2	2	3
M5 六角ナット		-	-	1	1	1	1	1	1	1
M5 平座金		-	-	1	1	1	1	1	1	1
M5 ばね座金		-	-	1	1	1	1	1	1	1

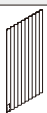
●波板パネル ランマ

名 称	略 図	員 数	
		2枚入	
波板パネル ランマ用		2	

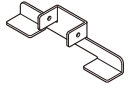


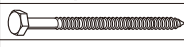

●波板パネル 正面

名 称	略 図	員 数		
		3枚入	5枚入	6枚入
波板パネル 正面用		3	5	6

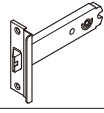
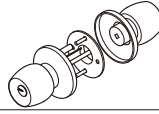


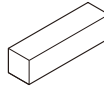
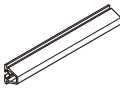
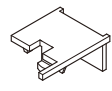






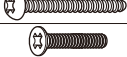

●波板パネル 側面

名 称	略 図	員 数				
		1枚入	2枚入	3枚入	4枚入	5枚入
波板パネル 側面用		1	2	3	4	5



●垂木掛 取付け部品

名 称	略 図	員 数
垂木掛補強金具		1
ブランドラベル		1
φ5×12トラスタッピンねじ3種		2
φ6×70六角コーチスクリューねじ		2
M6 平座金		2

●ドア本体 (つづき)

名 称	略 図	員 数	
		右吊用	左吊用
ラッチ箱錠		1	1
握り玉		1	1
キー		3	3
丁番		2	2
ドアクローザー取付け用木片		1	1
グレチャン		1	1
框キャップ R		2	2
框キャップ L		2	2
φ8プッシュボタン		5	5
締付座金		4	4
スピードナット		2	2
φ4×13 ナベドリルねじ3種		20	20
φ4×10 サラ小ねじ		16	16
φ4×12 サラタッピンねじ1種		2	2
φ4×35 ナベタッピンねじ2種(G=10)		10	10
M5×20 サラ小ネジ		2	2

●ドア本体

名 称	略 図	員 数	
		右吊用	左吊用
ストライク側縦枠 R		1	—
ストライク側縦枠 L		—	1
丁番側縦枠 R		1	—
丁番側縦枠 L		—	1
丁番側縦框		1	1
ロック側縦框		1	1
上下棧		2	2
中棧		1	1

●ポリカパネル ドア

名 称	略 図	員 数	
		2枚入	
ポリカパネル ドア		2	

●波板正面フレーム 連棟用

名 称	略 図	員 数	
縦枠 内観右		2	
縦枠 内観左		2	
下枠		2	
胴縁L		8	
正面上部ふさぎ材		2	
後付け柱用固定ボルト		2	
φ4×13 ナベドリルねじ3種		30	
φ5×13 ナベドリルねじ		39	
波板固定ねじ		110	
M8 平座金		2	
M8 ばね座金		2	
M8 六角ナット		2	

●柱セット

名 称	略 図	員 数		
		2本入	1本入	スクリーン用
柱		2	1	1
柱固定金具		2	1	1
アンカー棒		2	1	1
M5×10 トラスねじ3種		8	4	4
縦どい		1	1	-

●ドアクローザー

オプション

名 称	略 図	員 数
クローザー本体		1
アーム		1
座板		1
本体ブラケット		1
ブラケットリンク		1
キャップ		1
スパナ		1
M6×14 十字穴付六角ボルト		2
M5×12 丸サラ小ねじ(固着剤付き塗装)		5
M5×8 ナベ小ねじ(固着剤付き生地)		4
φ5×26 丸サラタッピンねじ		4
M5×20 丸サラ小ねじ(固着剤付き塗装)		3
M5 ターンナット		3

●追加胴縁セット

オプション

名 称	略 図	員 数
胴縁L		1
φ5×13 ナベドリルねじ		2
波板固定ねじ		11

●ターンナット

名 称	略 図	員 数
M4 ターンナット		10

●トラスねじ

名 称	略 図	員 数
φ4×16 トラストタッピンねじ3種		50

INDEX

基本寸法と各部名称	13
■基本寸法	13
1 スクリーン仕様	13
2 袖壁仕様	13
3 ヤード仕様	14
4 連棟	14
■各部名称	15
1 スクリーン仕様	15
2 袖壁仕様	15
3 ヤード仕様	15
■断面納まり	16
1 正面部 横断面図	16
2 正面部 縦断面図	16
3 側面部 横断面図	17
4 側面部 縦断面図	18
5 垂木枠 断面図	19
6 屋根1500タイプ断面図	19
柱の位置出し	20
■単体 1.0間～2.0間	20
1 スクリーン仕様	20
2 袖壁仕様	20
3 ヤード仕様	21
■連棟 2.5間～5.0間	21
本体の施工	22
■テラス本体の施工	22
1 柱の施工	22
2 スクリーン用柱一前枠の取付け	22
3 垂木掛補強金具の取付け	22
4 テラス本体の施工	22
■正面部の取付け	23
1 縦枠の取付け	23
2 胴縁と下枠の取付け	24
3 正面上部ふさぎ材の取付け	25
4 波板パネルの加工と取付け	26

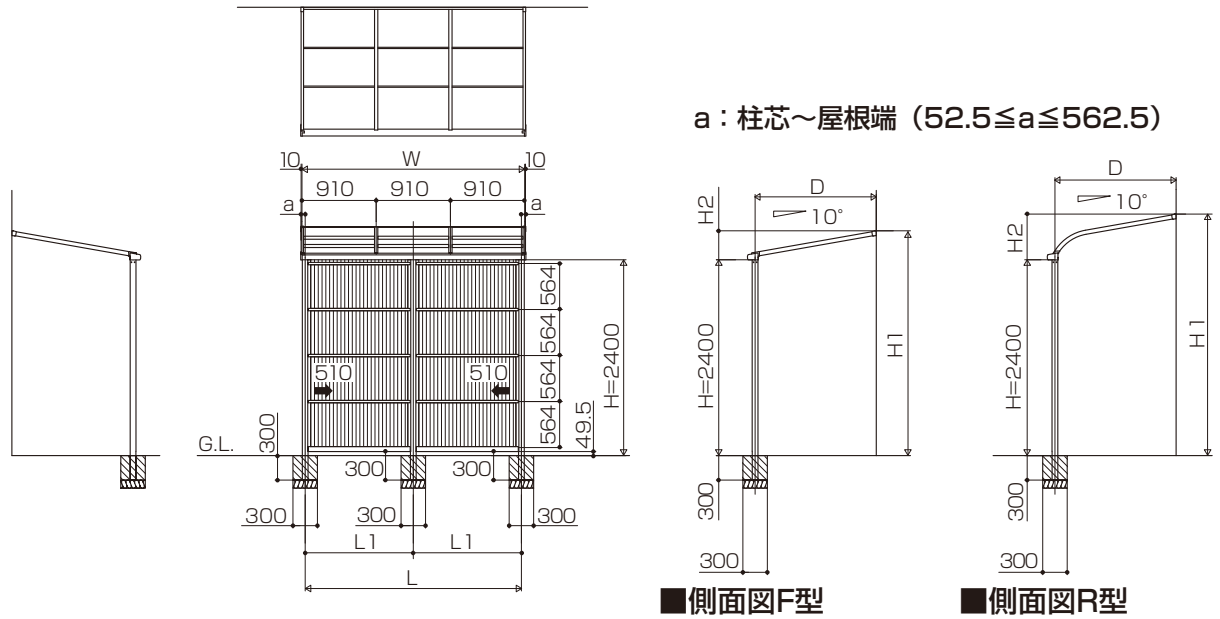
INDEX

■ 袖壁仕様・ヤード仕様(ドア袖壁)の取付け	27
1 垂木枠取付け金具の取付け	27
2 垂木枠と側面柱の取付け	27
(1) 袖壁仕様の場合	27
(2) ヤード仕様の場合	28
3 躯体柱 ドア用の取付け	29
4 縦枠の取付け	30
5 胴縁と下枠の取付け	31
6 波板パネルの加工と取付け	32
7 垂木枠押さえ材と側面柱カバーの取付け	33
■ ランマ部の取付け	34
1 横棧の取付け	34
2 縦枠 ランマ用の取付け	35
3 胴縁の取付け	35
4 波板パネルの加工と取付け	36
5 垂木枠押さえ材の取付け	37
6 横棧のシーリング	37
■ ドア部の取付け	38
1 ドア縦枠の取付け	38
2 ドアの組立て	39
3 ドアの取付けと調整	41
■ ドアクローザーの取付け オプション	42
1 座板・ブラケット取付け穴の加工	42
2 座板・ブラケットの取付け	42
3 本体ブラケットの取付け	43
4 アームの取付け	43
5 本体の取付け	43
6 アームの連結	43
7 ストップ角度の設定	44
8 ストップ角度を変更する場合	44
9 ドアクローザーの速度調整	44
■ 側面FIXの取付け	45
1 垂木枠 FIXの取付け	45
2 躯体柱 FIX用の取付け	46
3 縦枠の取付け	47
4 胴縁と下枠の取付け	48
5 波板パネルの加工と取付け	49
6 垂木枠押さえ材の取付け	50
■ 雪おろし注意シール・ブランドラベルの張付け	51
1 雪おろし注意シールの張付け	51
2 ブランドラベルの張付け	51
■ 柱の固定	51
■ 追加胴縁の使用法 オプション	52

基本寸法と各部名称

■基本寸法

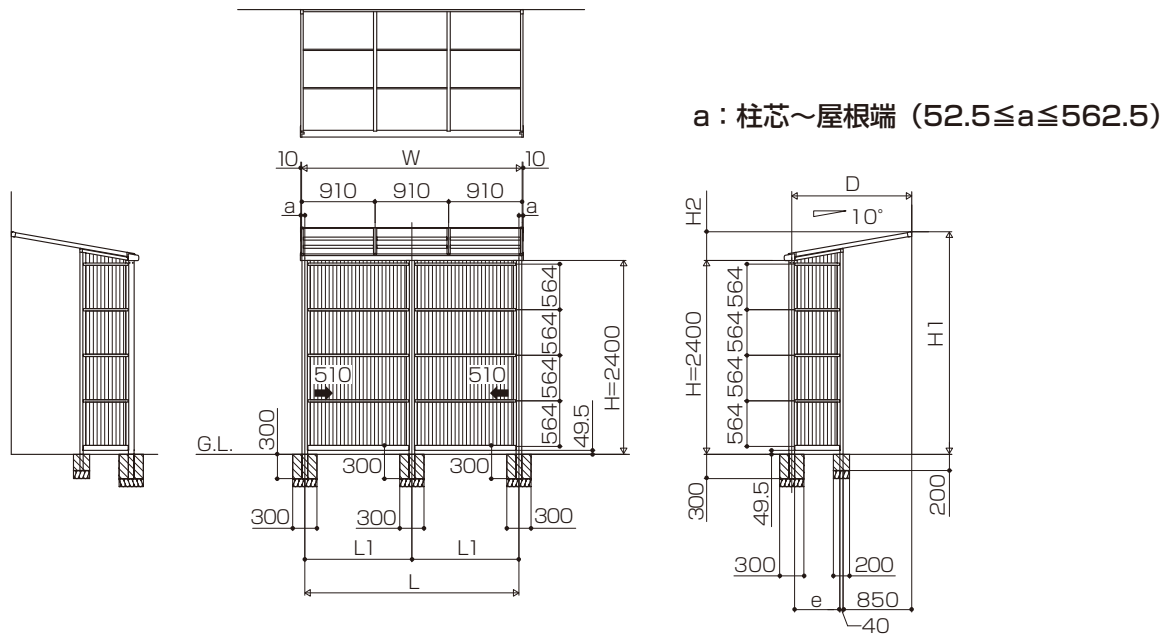
1 スクリーン仕様



間口	W	L	L1
1.0間	1820	1735	-
1.5間	2730	2645	1322.5
2.0間	3640	3555	1777.5

出幅	D	F型		R型	
		H1	H2	H1	H2
3R	885	2648.5	248.5	2789.5	389.5
4R	1185	2701.5	301.5	2842.5	442.5
5R	1485	2754.5	354.5	2895.5	495.5
6R	1785	2807	407	2948.5	548.5

2 袖壁仕様



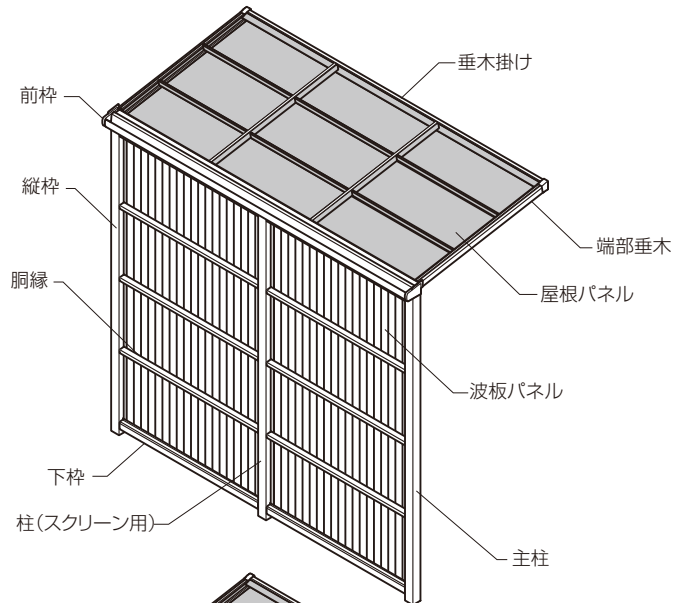
間口	W	L	L1
1.0間	1820	1735	-
1.5間	2730	2645	1322.5
2.0間	3640	3555	1777.5

出幅	D	H1	H2	e
4R	1185	2701.5	301.5	260
5R	1485	2754.5	354.5	560
6R	1785	2807	407	860

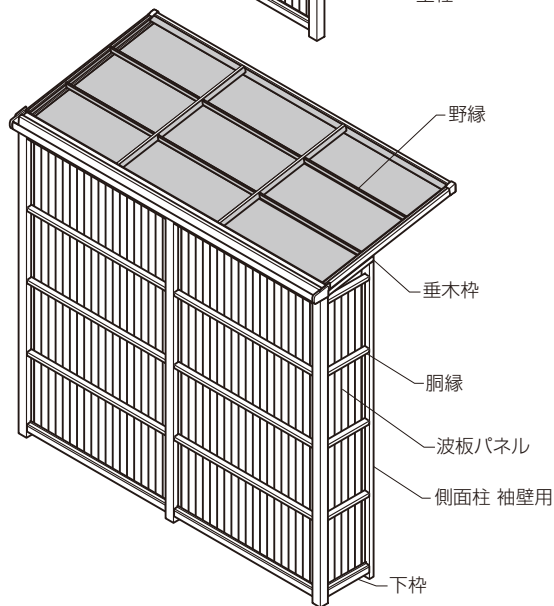
■各部名称

※1.0間の場合は、柱(スクリーン用)はありません。図は、1.5間5尺で説明しています。

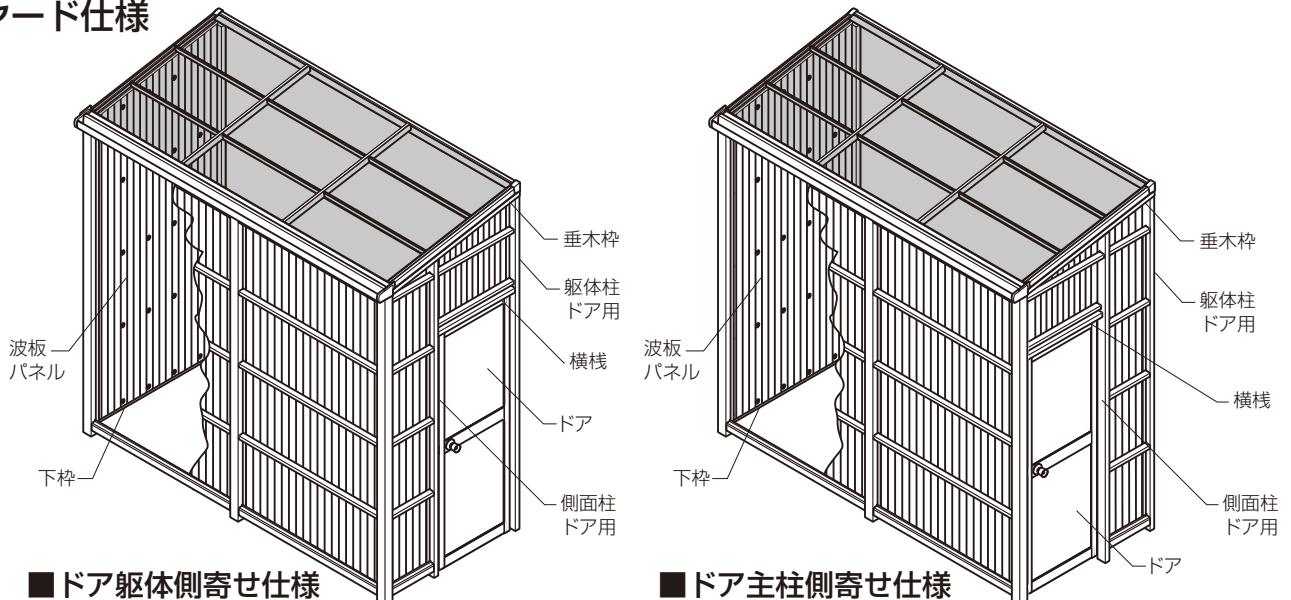
1 スクリーン仕様



2 袖壁仕様



3 ヤード仕様

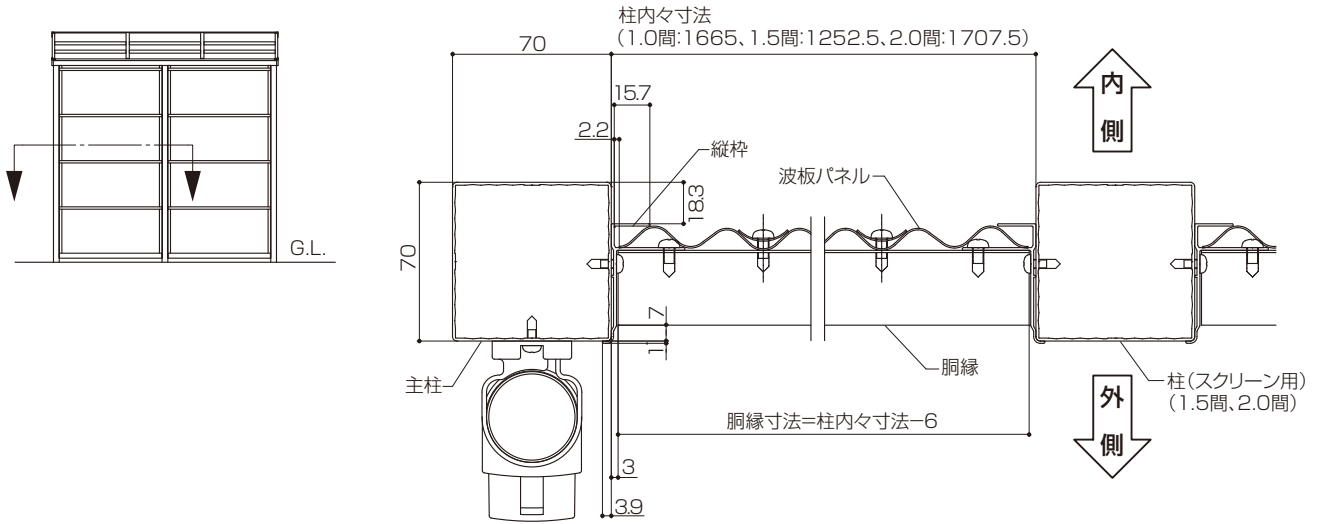


■ ドア躯体側寄せ仕様

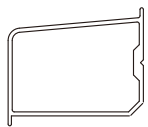
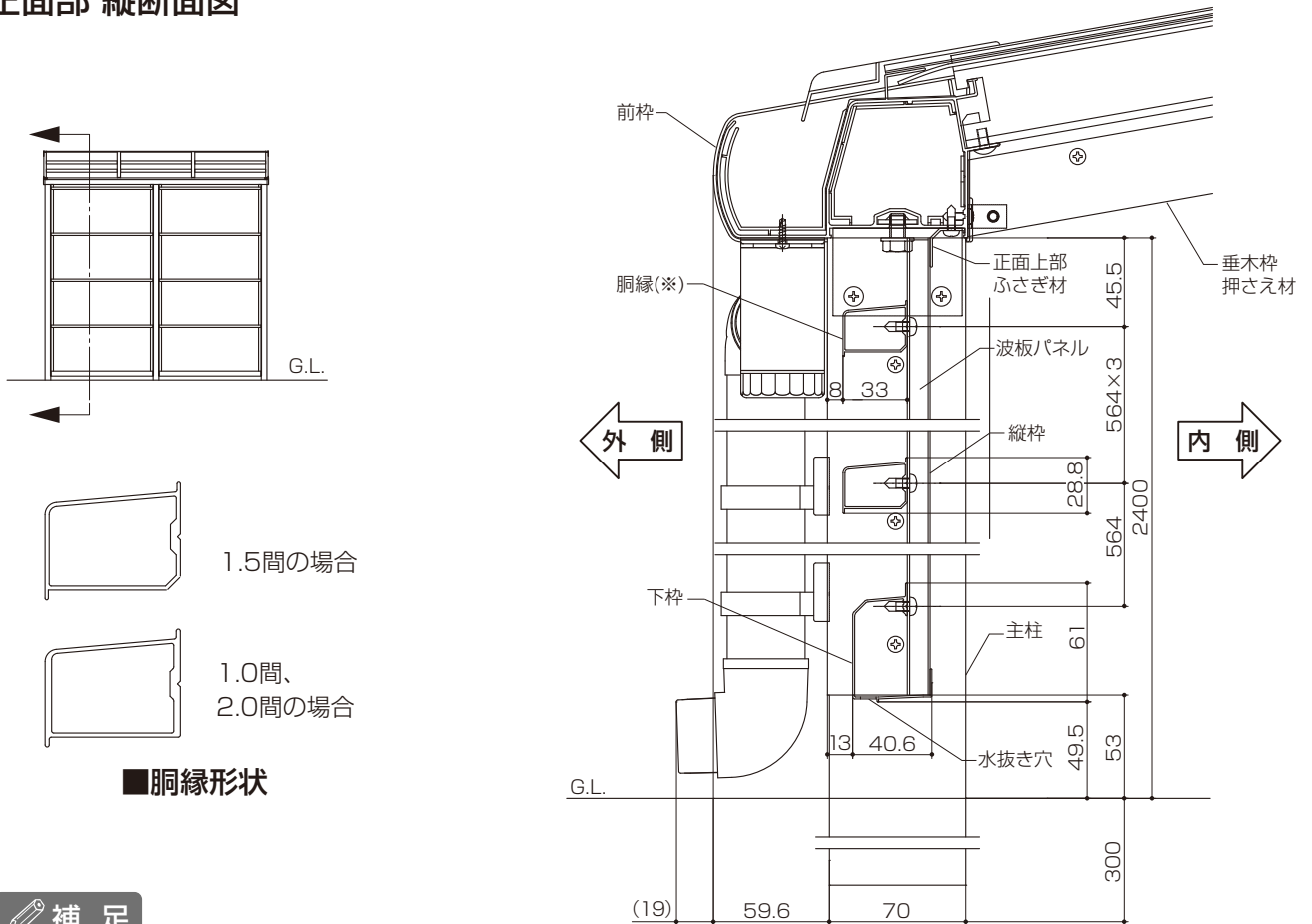
■ ドア主柱側寄せ仕様

■断面納まり

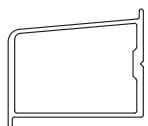
1 正面部 横断面図



2 正面部 縦断面図



1.5間の場合



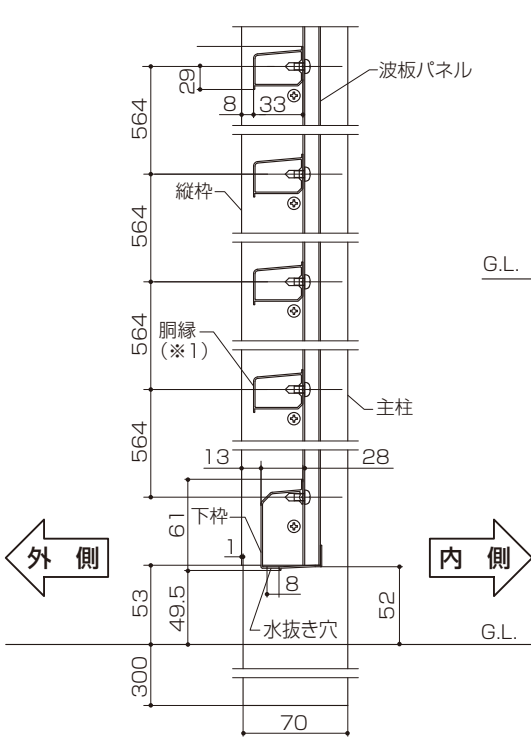
1.0間、
2.0間の場合

■胴縁形状

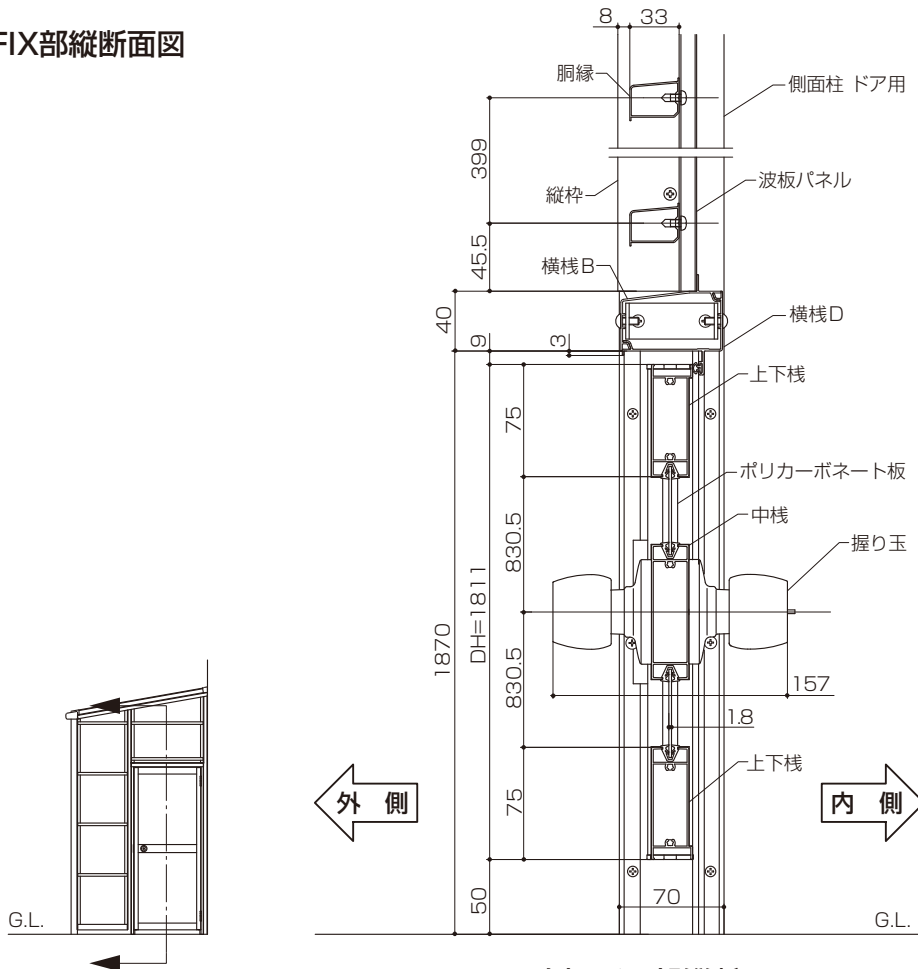
補足

●胴縁の形状は間口により異なります。(※1)

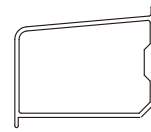
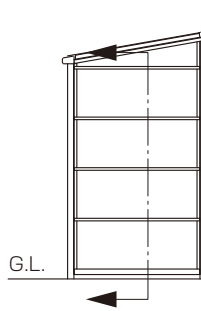
4側面部 縦断面図



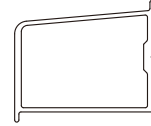
■側面FIX部縦断面図



■側面ドア部縦断面図



FIX仕様6尺以上の場合



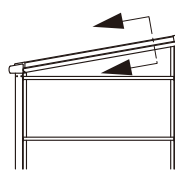
FIX仕様6尺の場合

■胴縁形状

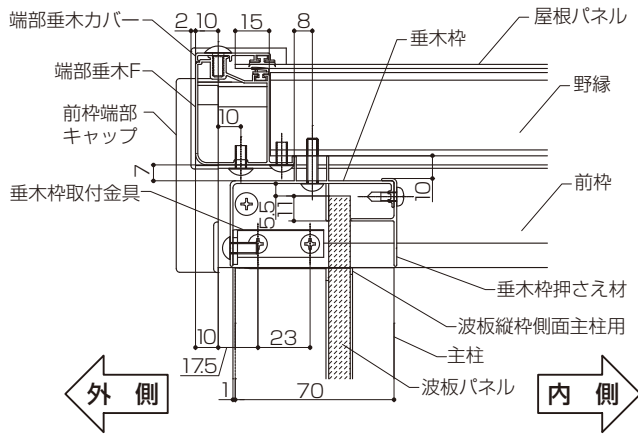
補足

●胴縁の形状は出幅により異なります。(※1)

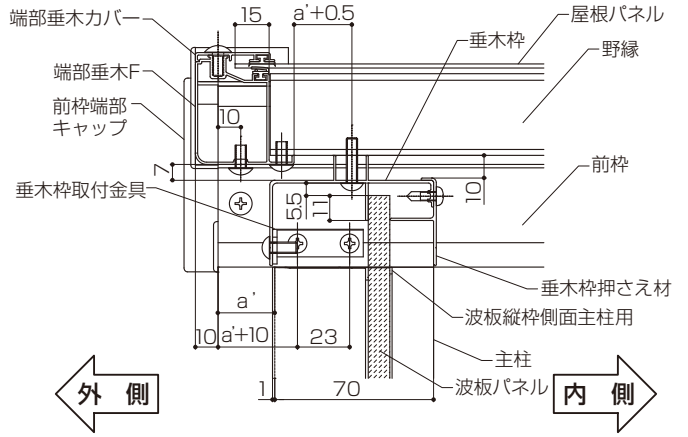
5 垂木柵 断面図



a' : 前柵形材端部～主柱外面 ($5 \leq a' \leq 515$)



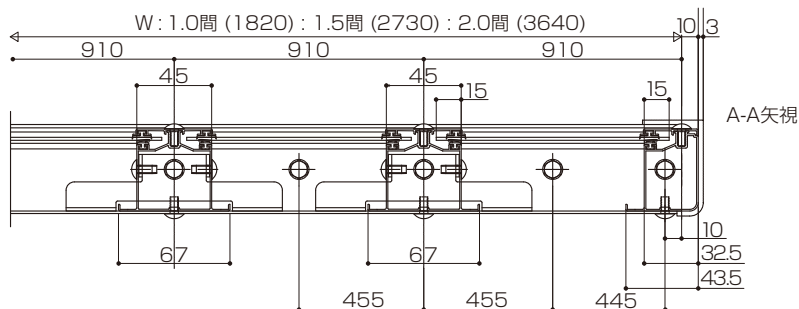
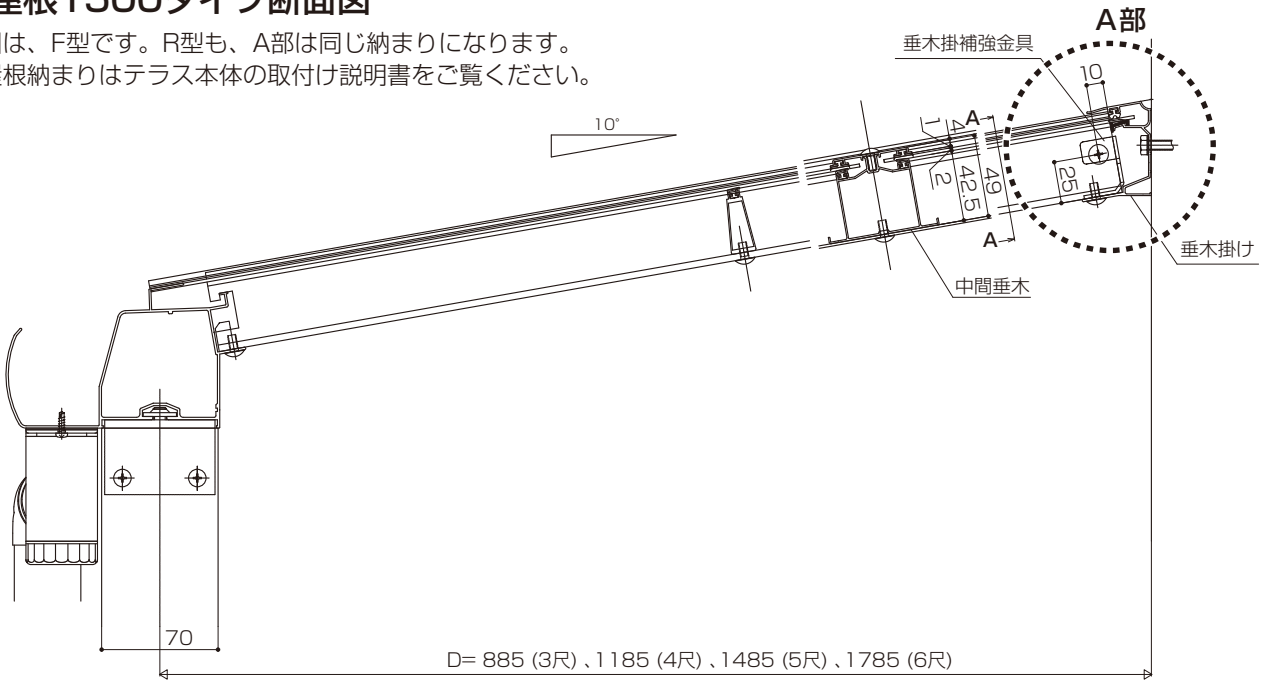
■ 垂木柵断面図 柱標準位置



■ 垂木柵断面図 柱移動の場合

6 屋根1500タイプ断面図

※図は、F型です。R型も、A部は同じ納まりになります。
 ※屋根納まりはテラス本体の取付け説明書をご覧ください。



ポイント

● A部・中間垂木の垂木掛け側に垂木掛補強金具がつかます。

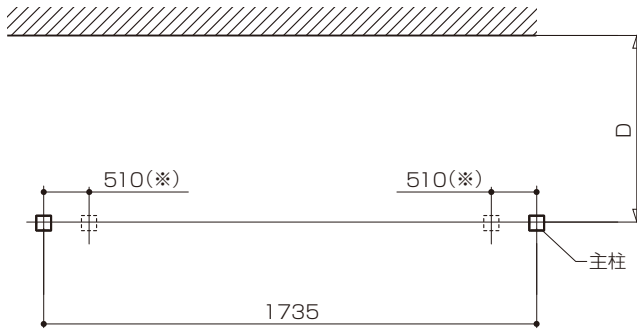
柱の位置出し

■単体 1.0間~2.0間

1スクリーン仕様

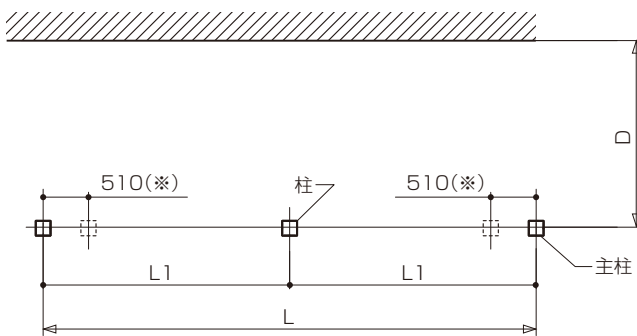
※主柱移動可能範囲は、510mmです。

(1) 1.0間



	3尺	4尺	5尺	6尺
D	885	1185	1485	1785

(2) 1.5間・2.0間



	1.5間	2.0間
L	2645	3555
L1	1322.5	1777.5

	3尺	4尺	5尺	6尺
D	885	1185	1485	1785

2袖壁仕様

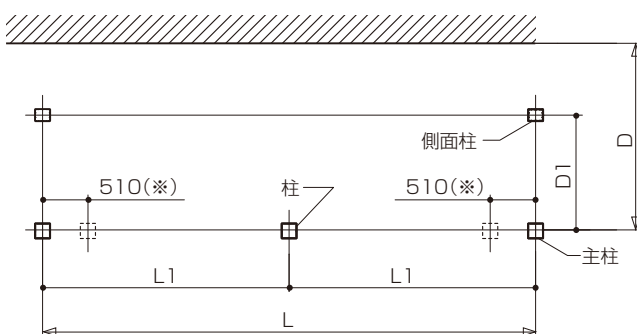
※主柱移動可能範囲は、510mmです。

(1) 1.0間



	4尺	5尺	6尺
D	1185	1485	1785
D1	315	615	915

(2) 1.5間・2.0間



	1.5間	2.0間
L	2645	3555
L1	1322.5	1777.5

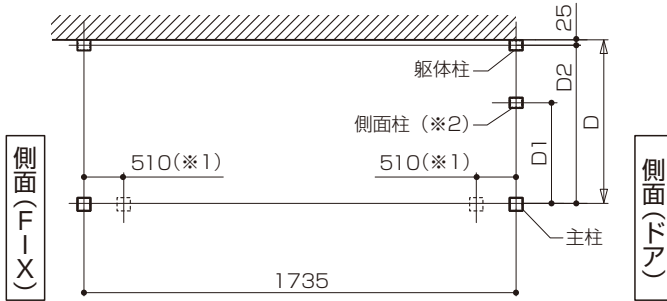
	4尺	5尺	6尺
D	1185	1485	1785
D1	315	615	915

3 ヤード仕様

※1 主柱移動可能範囲は、510mmです。

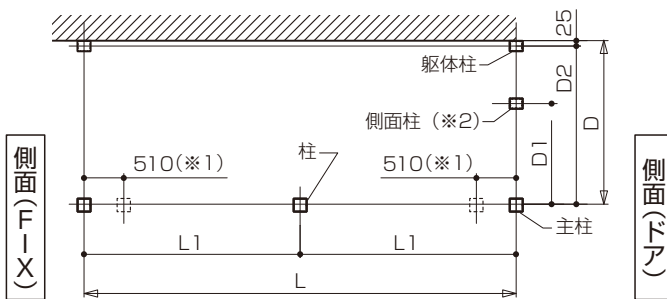
※2 側面柱は3尺の場合、使用しません。

(1) 1.0間



	3尺	4尺	5尺	6尺
D	885	1185	1485	1785
D1 ドア躯体側寄せ	-	315	615	915
D1 ドア主柱側寄せ	-	860	860	860
D2	860	1160	1460	1760

(2) 1.5間・2.0間

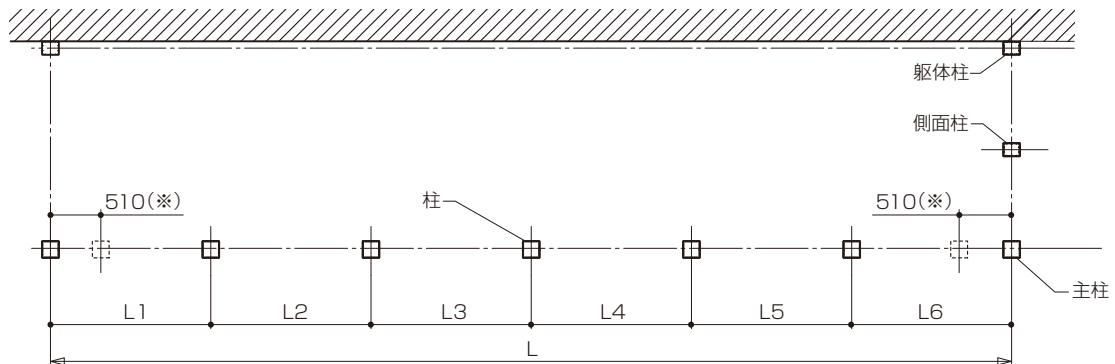


	1.5間	2.0間
L	2645	3555
L1	1322.5	1777.5

	3尺	4尺	5尺	6尺
D	885	1185	1485	1785
D1 ドア躯体側寄せ	-	315	615	915
D1 ドア主柱側寄せ	-	860	860	860
D2	860	1160	1460	1760

■連棟 2.5間～5.0間

※主柱移動可能範囲は、510mmです。



間口	2.5間	3.0間	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間
組合せ	1.0+1.5	1.5+1.5	1.5+2.0	2.0+2.0	1.5+1.5+1.5	1.5+2.0+1.5
L	4465	5375	6285	7195	8105	9015
L1	1777.5[1840]	1342.5[1780]	1342.5[1780]	1777.5[1780]	1342.5[1780]	1342.5[1780]
L2	1345[1740]	1345[1840]	1345[1780]	1820[1840]	1345[1780]	1345[1780]
L3	1342.5[1840]	1345[1840]	1800[1840]	1820[1840]	1365[1840]	1820[1840]
L4	-	1342.5[1780]	1797.5[1840]	1777.5[1780]	1365[1840]	1820[1840]
L5	-	-	-	-	1345[1780]	1345[1780]
L6	-	-	-	-	1342.5[1780]	1342.5[1780]

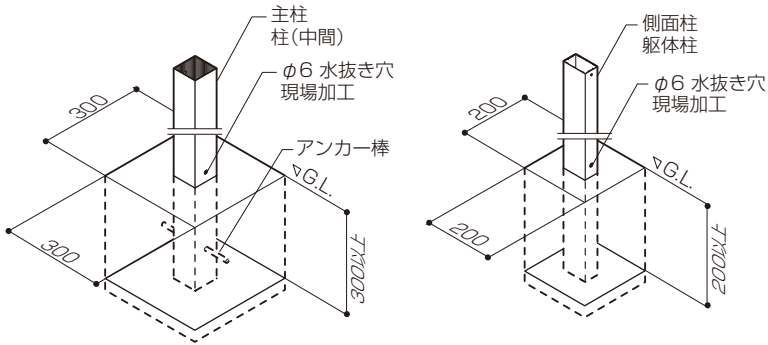
ポイント

- 側面の柱位置は単体の各仕様と同じです。
- []寸法は柱を移動できる最大寸法です。
- 連棟部の柱の移動範囲は±80mmです。

本体の施工

■テラス本体の施工

1 柱の施工



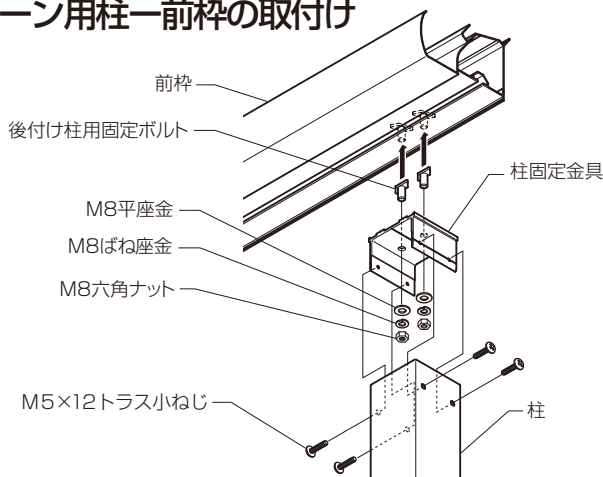
- ①「柱の位置出し」(P.20)を参考に主柱、柱、側面柱、躯体柱の基礎穴を掘ってください。
- ②各柱にφ6の水抜き穴をあけてください。

ポイント

- スピーネと主柱の標準位置が異なります。
- 基礎に水がたまりやすい場合は、基礎自体に水勾配をつけてください。

本体の施工

2 スクリーン用柱—前枠の取付け



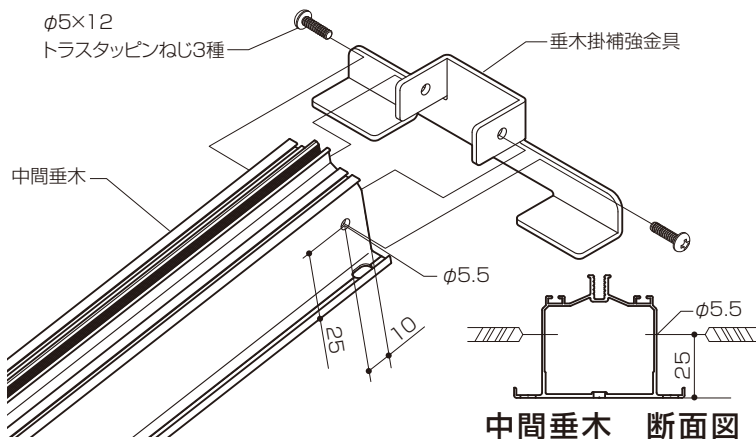
- ①柱固定金具と前枠を固定してください。
- ②柱固定金具と柱を固定してください。

補足

- テラス本体とスクリーン用柱を同時に施工する場合、スクリーン用柱は主柱と同様の取付けを行ってください。その時は、柱取付け裏板を使用してください。

3 垂木掛補強金具の取付け

※ストックヤード1500タイプを施工する場合の作業です。



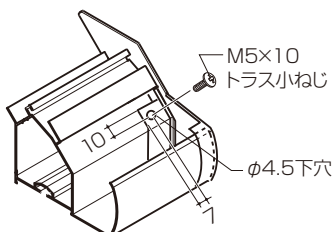
- ①中間垂木に垂木掛補強金具取付け用のφ5.5の穴をあけてください。
- ②垂木掛補強金具を中間垂木に取付けてください。

ポイント

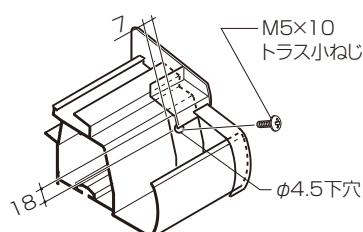
- 垂木掛補強金具に同梱のブランドラベルは「ブランドラベルの張付け」(P.51)にしたがって、前枠に張付けてください。

4 テラス本体の施工

【スピーネRの場合】



【スピーネFの場合】

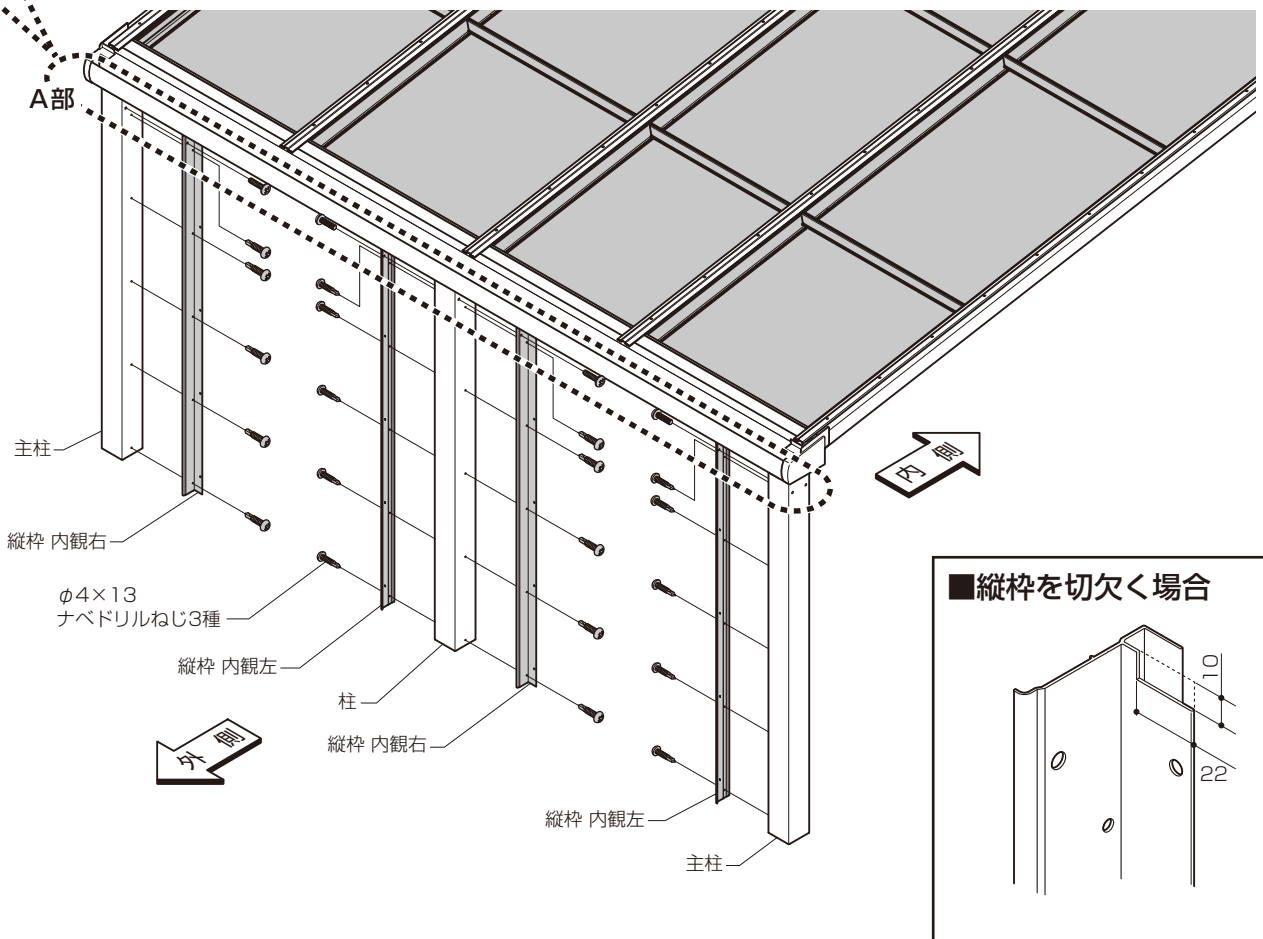
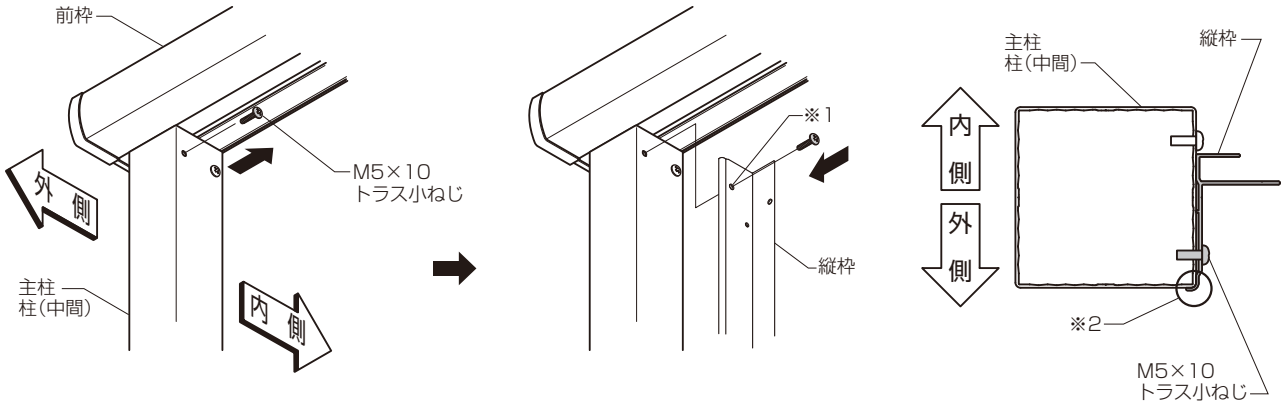


- ①テラス本体取付け説明書を参照の上、テラス部を施工してください。
- ②側面ユニットを取付ける場合は前枠キャップのねじを取外し、図の位置にねじ止めしてください。

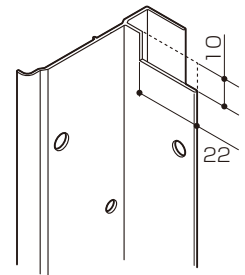
■正面部の取付け

1 縦枠の取付け

■A部詳細



■縦枠を切欠く場合



①主柱または柱の上部に固定している外側のM5×10トラス小ねじを外してください。

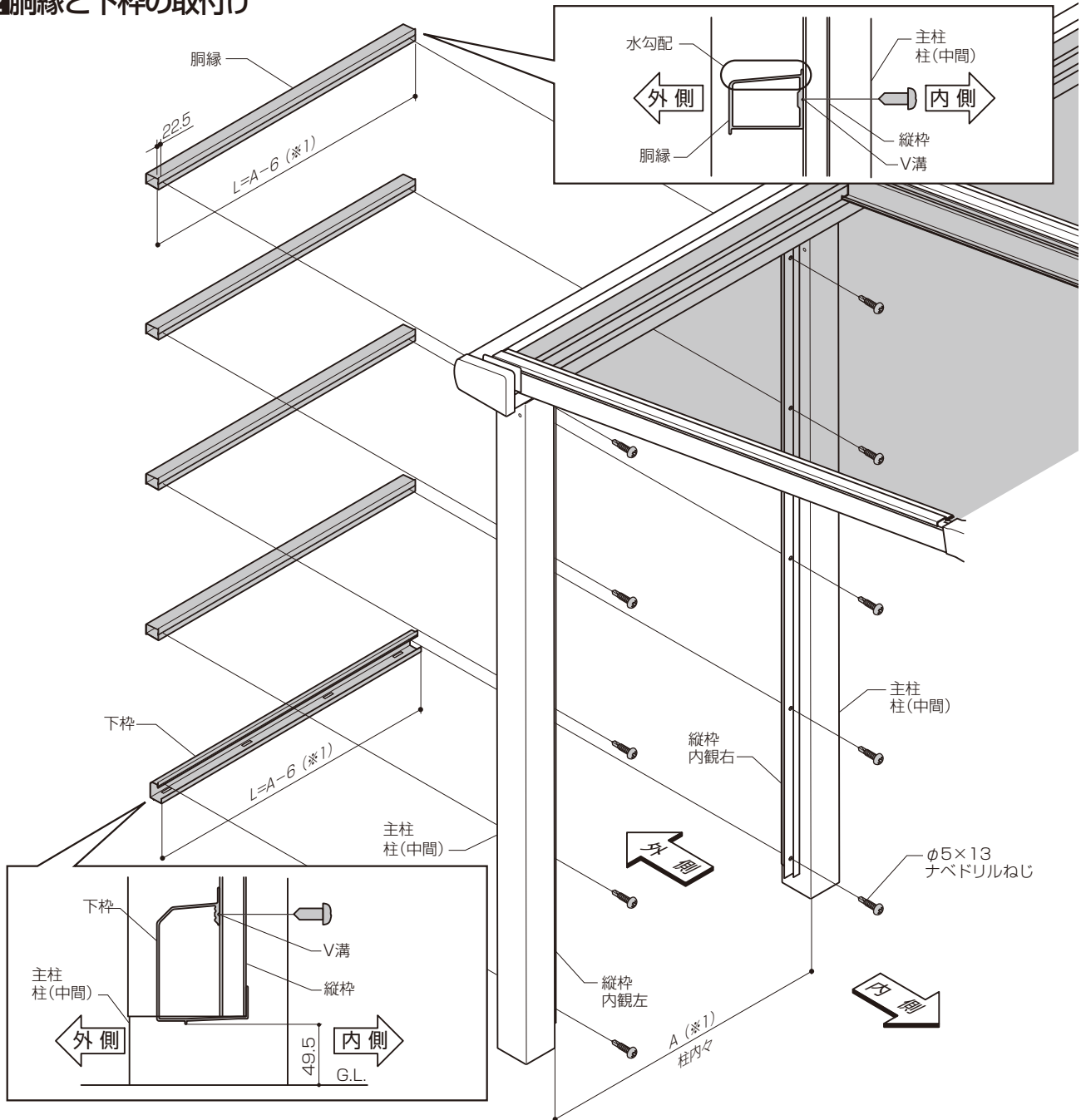
🔑ポイント

- 縦枠には上下方向があります。端部にφ6の穴がある方が上側です。(※1)
- 主柱または中間柱の外側角部に、縦枠のフィンをすきまが出ないように合わせてください。(※2)
- スピーネに後付けする場合などで、柱固定金具固定用の六角ボルトが表に出ているタイプに取付ける場合は、あらかじめ縦枠の上端部に切欠き加工をしてください。

②縦枠の上端部の穴に①で外したM5×10トラス小ねじを通して、縦枠を柱に固定してください。

③主柱または柱と縦枠を固定してください。

2 胴縁と下枠の取付け



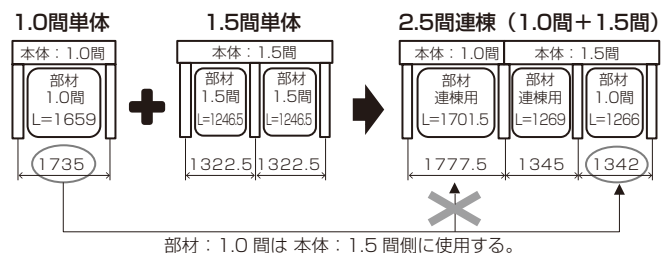
ポイント

- 胴縁は水勾配面を上向きに取付けてください。
- 柱位置を移動した場合は、柱内々寸法Aを計測し、胴縁と下枠を切詰めてください。(※1)

ポイント

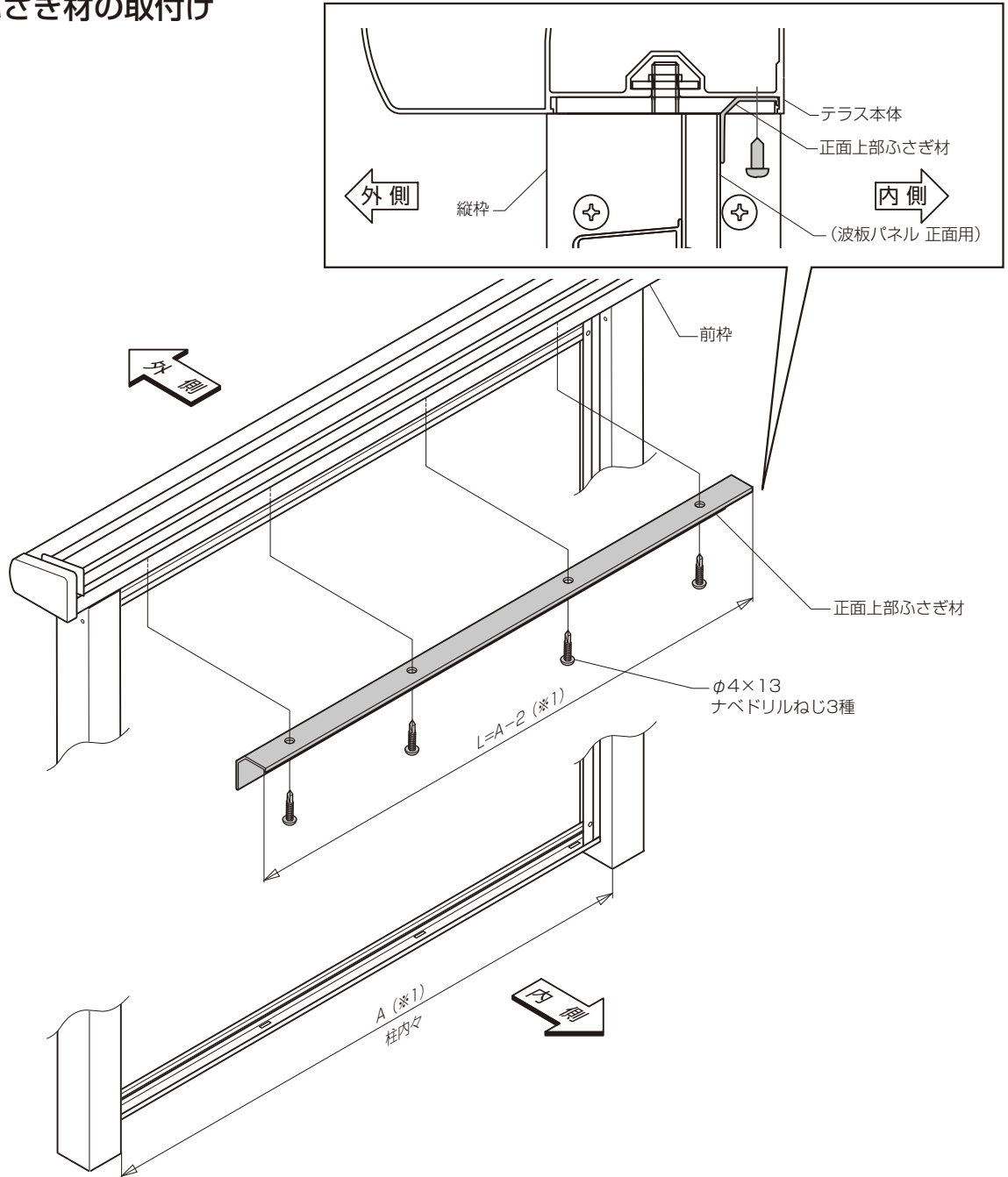
- 連棟の場合、柱内々寸法が単体の場合と異なります。単体側に連棟用部材を使用する場合や、柱内々寸法によっては切り詰めが発生します。P14の姿図を参照の上、使用する部材を割り当ててください。

例. 2.5間連棟の場合



- ① 胴縁のV溝を縦枠の穴にあわせてから、胴縁を縦枠に取付けてください。
- ② 下枠のV溝を縦枠の穴にあわせてから、下枠を縦枠に取付けてください。

3 正面上部ふさぎ材の取付け



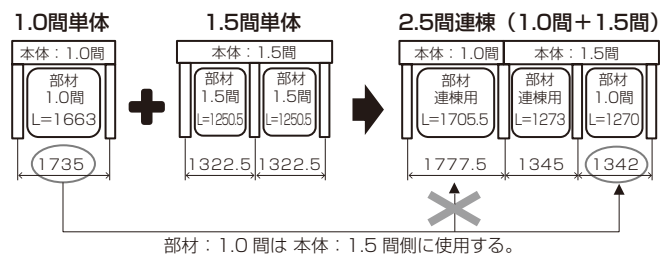
ポイント

- 柱位置を移動した場合は、柱内々寸法を計測し正面上部ふさぎ材を切詰めてください。(※1)
- スピーネに後付けする場合などで、柱固定金具固定用の六角ボルトが表に出ているタイプに取付ける場合は、 $L=A-66$ です。(※1)

ポイント

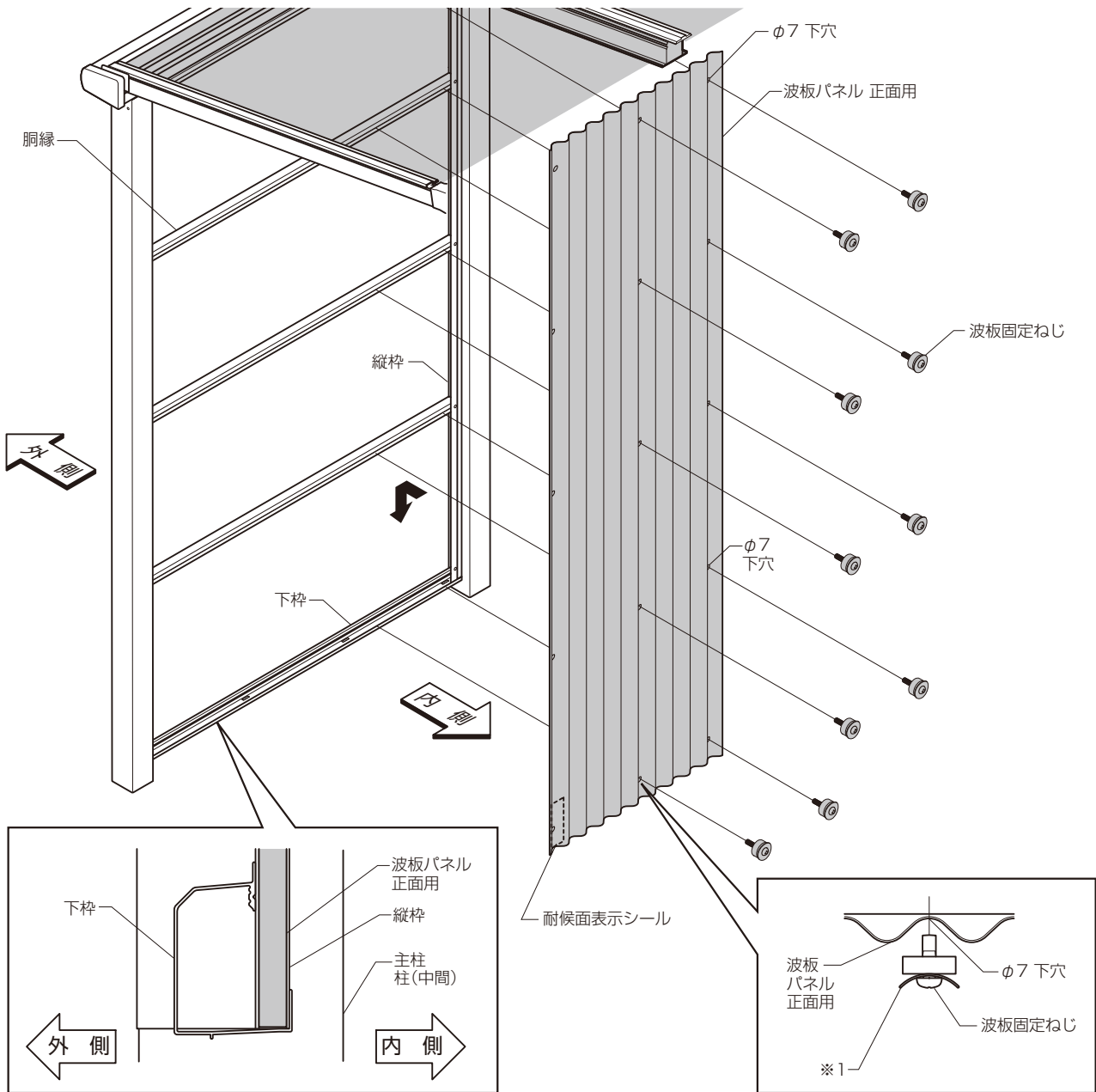
- 連棟の場合、柱内々寸法が単体の場合と異なります。単体側に連棟用部材を使用する場合や、柱内々寸法によっては切り詰めが発生します。P14の姿図を参照の上、使用する部材を割り当ててください。

例. 2.5間連棟の場合



①正面上部ふさぎ材を前枠の下面に取付けてください。

4 波板パネルの加工と取付け



ポイント

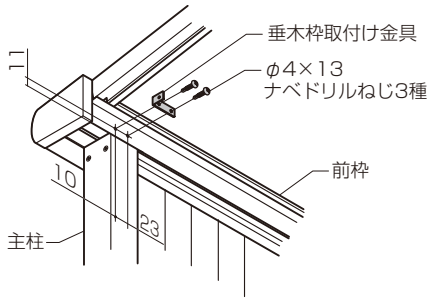
- 波板パネルに張ってある耐候面表示シールの内容にしたがって、表裏を確認してください。
- 複数の波板をつなげる場合は、2.5山以上の重ね代を確保してください。
- 波板固定ねじは、波板の谷部に、φ7の下穴を加工してから固定してください。
- 波板固定ねじは、座金部分（※1）を波板側に押さえつけながら取付けてください。
- 波板固定ねじの取付けピッチは、6山以内になしてください。
- 冒頭の<波板パネルの施工について>を参照して、波板パネルを加工してください。

- ① 波板パネルの耐候面表示シールが下側になる向きにして、内観右端から一枚ずつ取付けてください。
- ② 波板パネルを縦枠と下枠に差込み、仮置きしてください。
- ③ 下枠、胴縁のV溝に合わせて、波板の谷部に下穴加工用の印をつけてください。
- ④ 波板パネルにφ7の下穴を加工してください。
- ⑤ 波板を下枠と胴縁に固定してください。

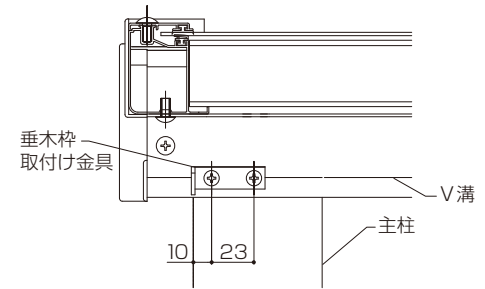
■袖壁仕様・ヤード仕様(ドア袖壁)の取付け

※図はテラス内観左取付けの場合を示します。内観右の場合は左右が反対になります。

■1 垂木柵取付け金具の取付け



■主柱との位置関係



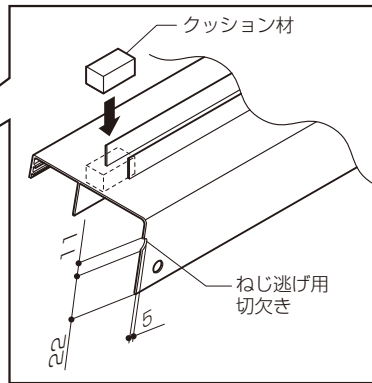
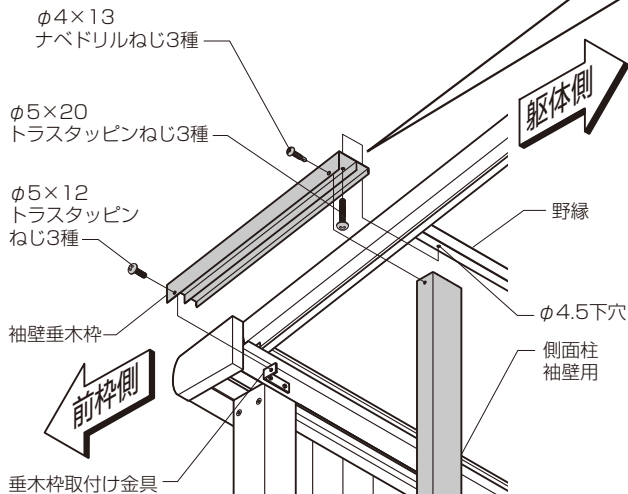
ポイント

●垂木柵取付け金具の取付け位置は、主柱の位置により変動します。

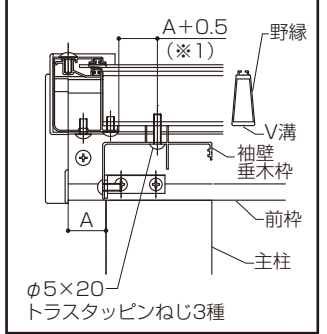
- ①前柵に主柱の外側面から10mmの位置のV溝に、ねじ固定個所の印をつけてください。
- ②垂木柵取付け金具を前柵に取付けてください。

■2 垂木柵と側面柱の取付け

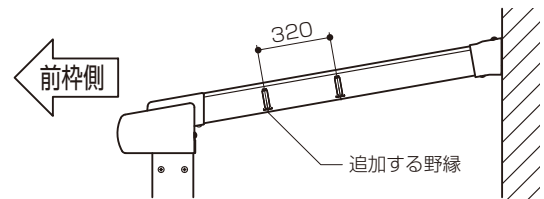
(1) 袖壁仕様の場合



■野縁の下穴加工位置



■出幅4尺の追加野縁位置



- ①野縁に袖壁垂木柵取付け用の下穴φ4.5を加工してください。

ポイント

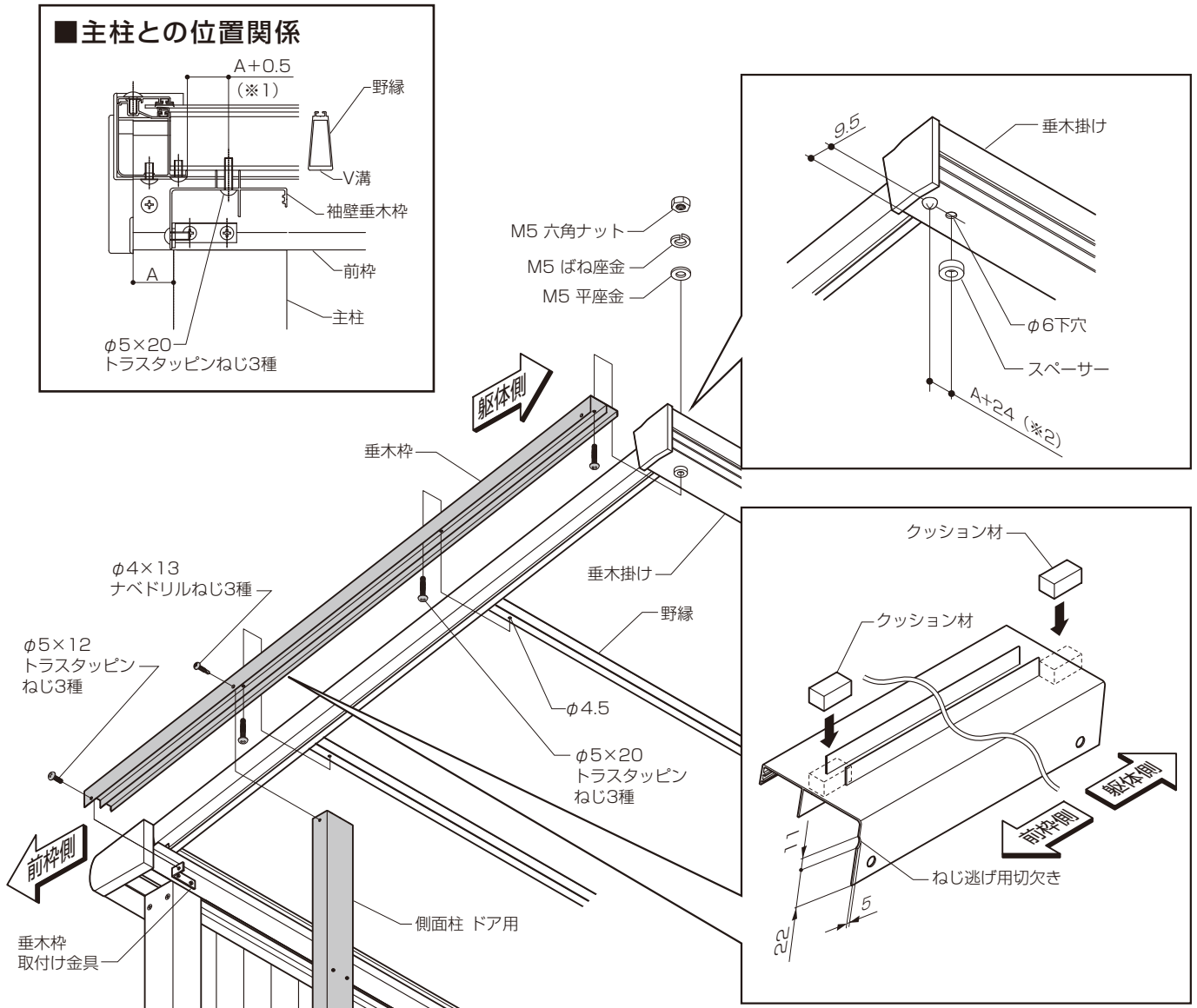
- 野縁の下穴加工位置(※1)は、主柱の位置により変動します。前柵の形材端部から主柱外面までの寸法Aを計測して、取付け位置を確認してください。
- 出幅4尺の場合は、野縁の追加が必要です。標準で取付いている野縁から320mm前柵側の端部垂木・中間垂木にφ5.5の下穴を加工して、野縁を取付けてください。
- 主柱の位置により、前柵端部キャップ固定ねじと垂木柵が干渉する場合があります。その場合は、垂木柵をねじ頭分だけ切欠いて取付けてください。

- ②袖壁垂木柵の前柵側上面のフィン切欠き部にクッション材を張付けてください。
- ③袖壁垂木柵を垂木柵取付け金具、野縁に取付けてください。
- ④側面柱 袖壁用を袖壁垂木柵に取付けてください。

ポイント

●側面柱 袖壁用には上下方向があります。端部に穴加工がある方が上側です。

(2) ヤード仕様の場合



- ①野縁に垂木枠取付け用の下穴φ4.5を加工してください。
- ②垂木掛けに垂木枠取付け用の下穴φ6を加工してください。
- ③垂木掛けの下面の②で加工した穴に合わせて、スペーサーを張付けてください。

ポイント

- 野縁と垂木掛けの下穴加工位置(※1、※2)は、主柱の位置により変動します。前枠の型材端部から主柱外面までの寸法Aを計測して、取付け位置を確認してください。
- 主柱の位置により、前枠端部キャップ固定ねじと垂木枠が干渉する場合があります。その場合は、垂木枠をねじ頭分だけ切欠いて取付けてください。

- ④垂木枠の両端部上面のフィン切欠き部にクッション材を貼付けてください。クッション材は切断して使用してください。
- ⑤垂木枠を垂木枠取付け金具で、野縁に、垂木掛けに取付けてください。
- ⑥側面柱 ドア用を垂木枠に取付けてください。

ポイント

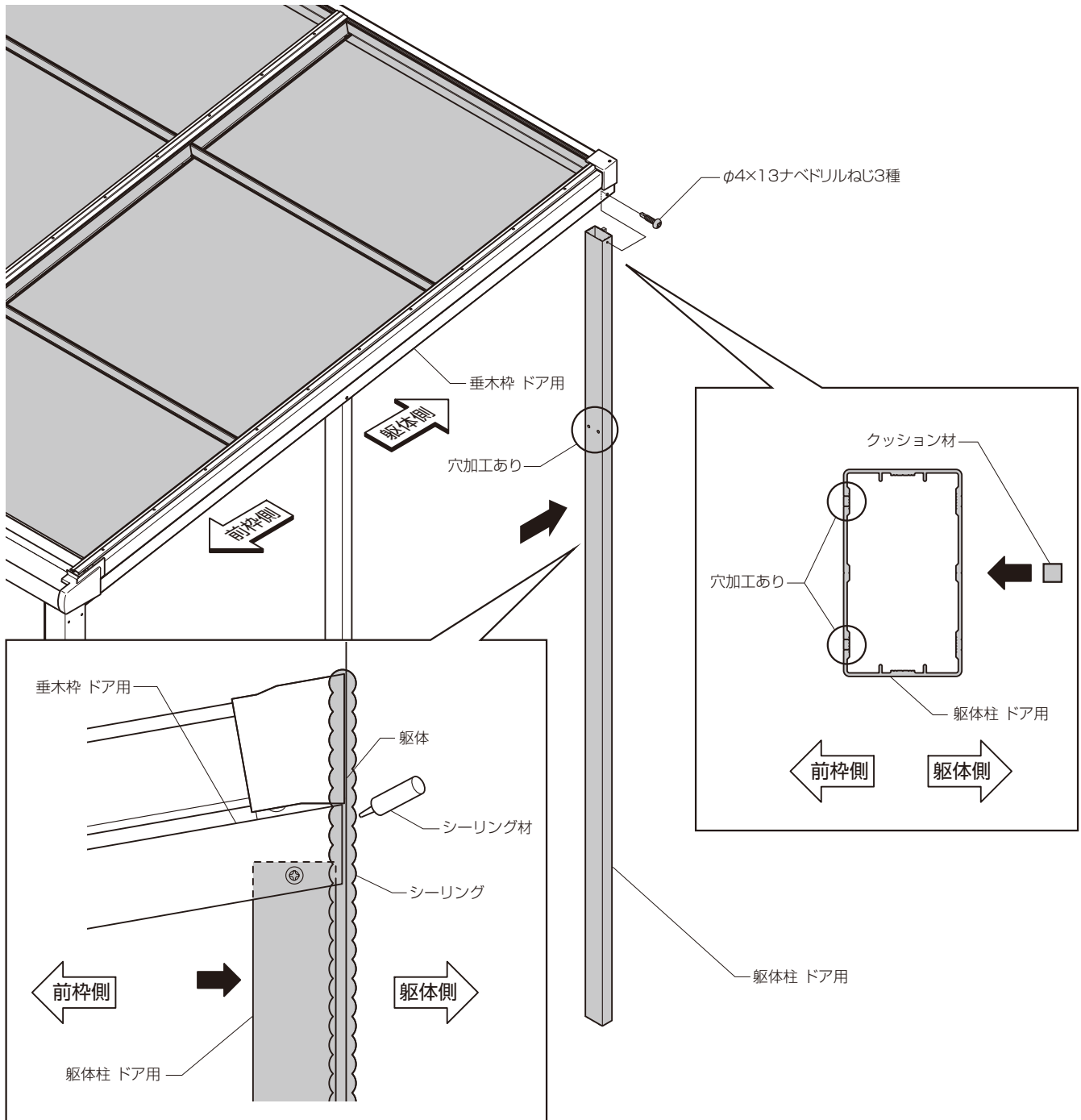
- 側面柱 ドア用には取付け方向があります。端部に穴加工がある方が上側、中間に穴加工がある面がドア設置側です。

3 躯体柱 ドア用の取付け

※ヤード仕様の場合の作業です。袖壁仕様の場合は、必要ありません。

※図はドア躯体側寄せ仕様の場合を示します。

ドア支柱側寄せ仕様の場合はドア位置が異なりますのでご注意ください。



ポイント

- 躯体柱 ドア用には取付け方向があります。端部に穴加工がある方を上側に、中間に穴加工がある面をドア設置側に取付けてください。（ドア支柱側寄せ仕様の場合、躯体柱ドア用には両面とも穴加工はありません。）
- 躯体柱 ドア用の基礎コンクリート硬化後に、躯体柱 ドア用と躯体のすき間をシーリングしてください。

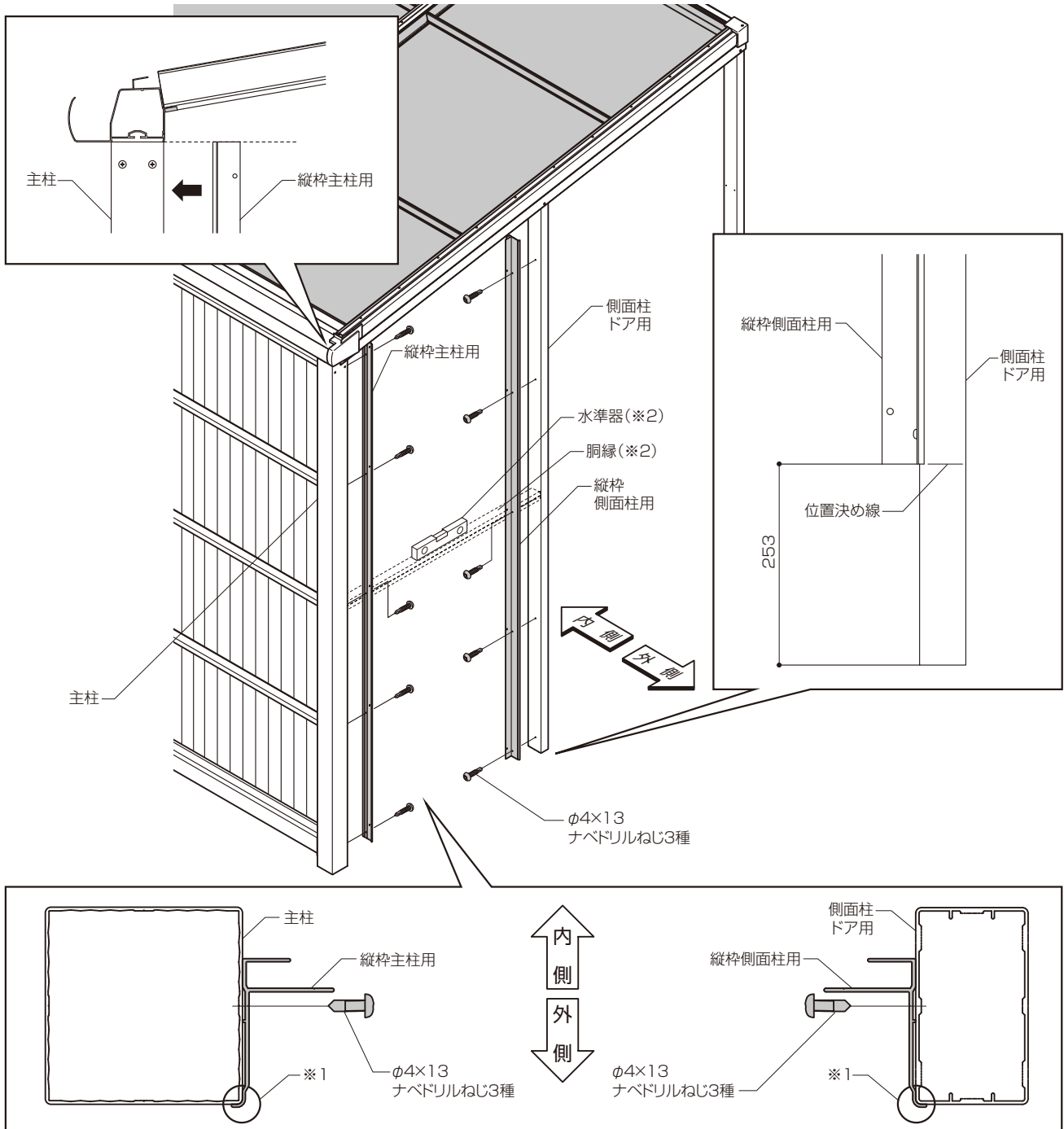
① 躯体柱 ドア用の躯体側面にクッション材を張付けて、躯体に押しつけながら垂木枠ドア用に取り付けてください。

4 縦枠の取付け

※図はヤード仕様で説明していますが、袖壁仕様も同様です。

※図はドア躯体側寄せ仕様の場合を示します。

ドア支柱側寄せ仕様の場合はドア位置が異なりますのでご注意ください。



ポイント

- 各縦枠は長さが異なります。短い方を前枠側に使用します。
- ドア支柱側寄せ仕様の場合、縦枠側面柱用と縦枠躯体柱用となり、短い方が縦枠側面柱用です。
- 各柱の外側角部に、縦枠のフィンをすきまが出ないように合わせてください。(※1)
- 現場状況によっては設定位置がずれる場合があるので胴縁で水平の確認をしてください。(※2)

①縦枠支柱用を主柱に当て、上側に突き当たった位置で、縦枠支柱用を主柱に取付けてください。

②側面柱の下端部から253mmの位置に縦枠位置決めのための線を鉛筆で引いてください。

③縦枠側面柱用を側面柱に当て、②で引いた線に縦枠の下面を合わせて、縦枠側面柱用を側面柱に取付けてください。

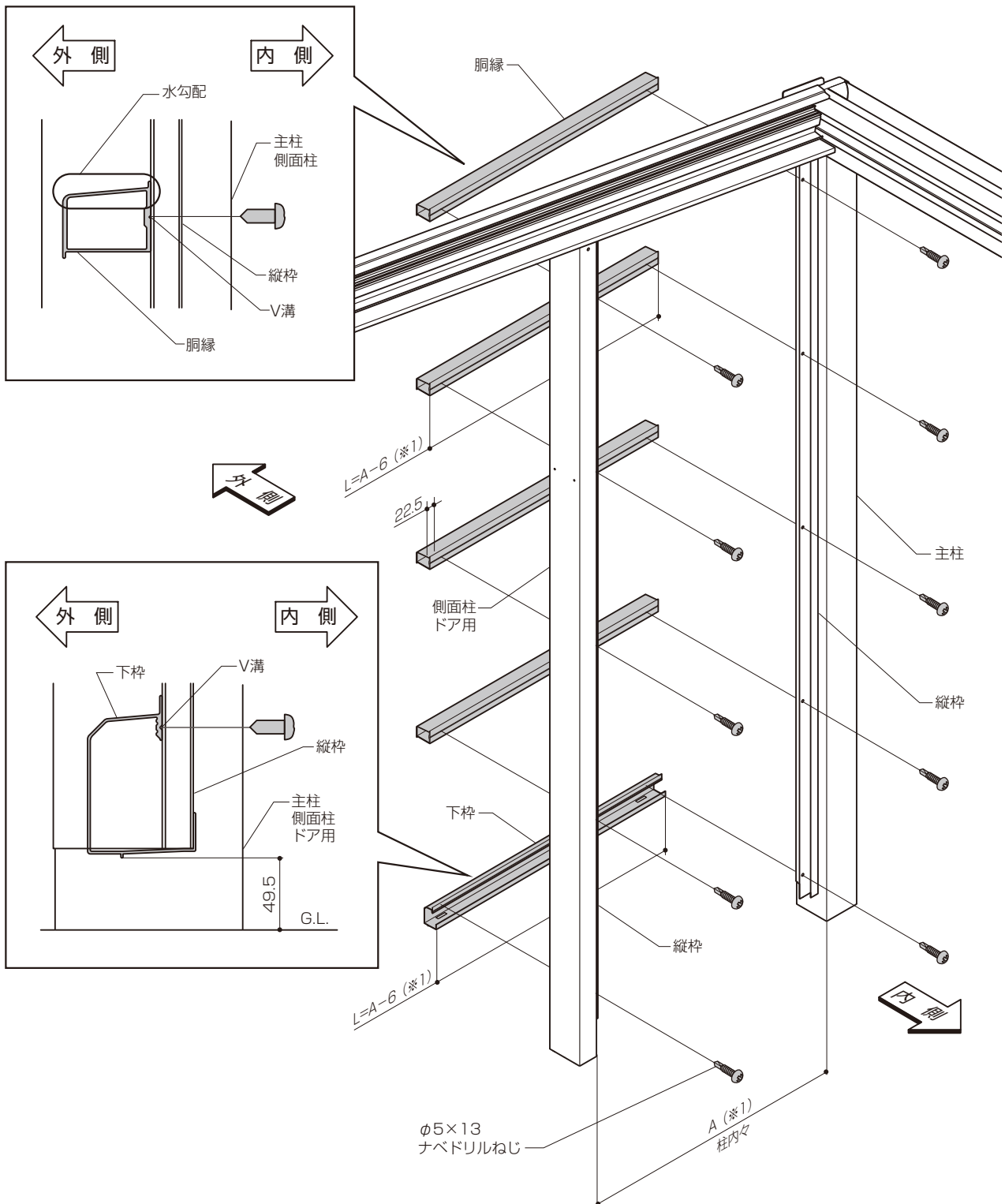
<ドア支柱側寄せ仕様の場合>

①側面柱と躯体柱の下端部から253mmの位置に縦枠位置決めのための線を鉛筆で引いてください。

②各縦枠を柱に当て、①で引いた線に縦枠の下面を合わせて取付けてください。

5 胴縁と下枠の取付け

※図はヤード仕様で説明していますが、袖壁仕様も同様です。



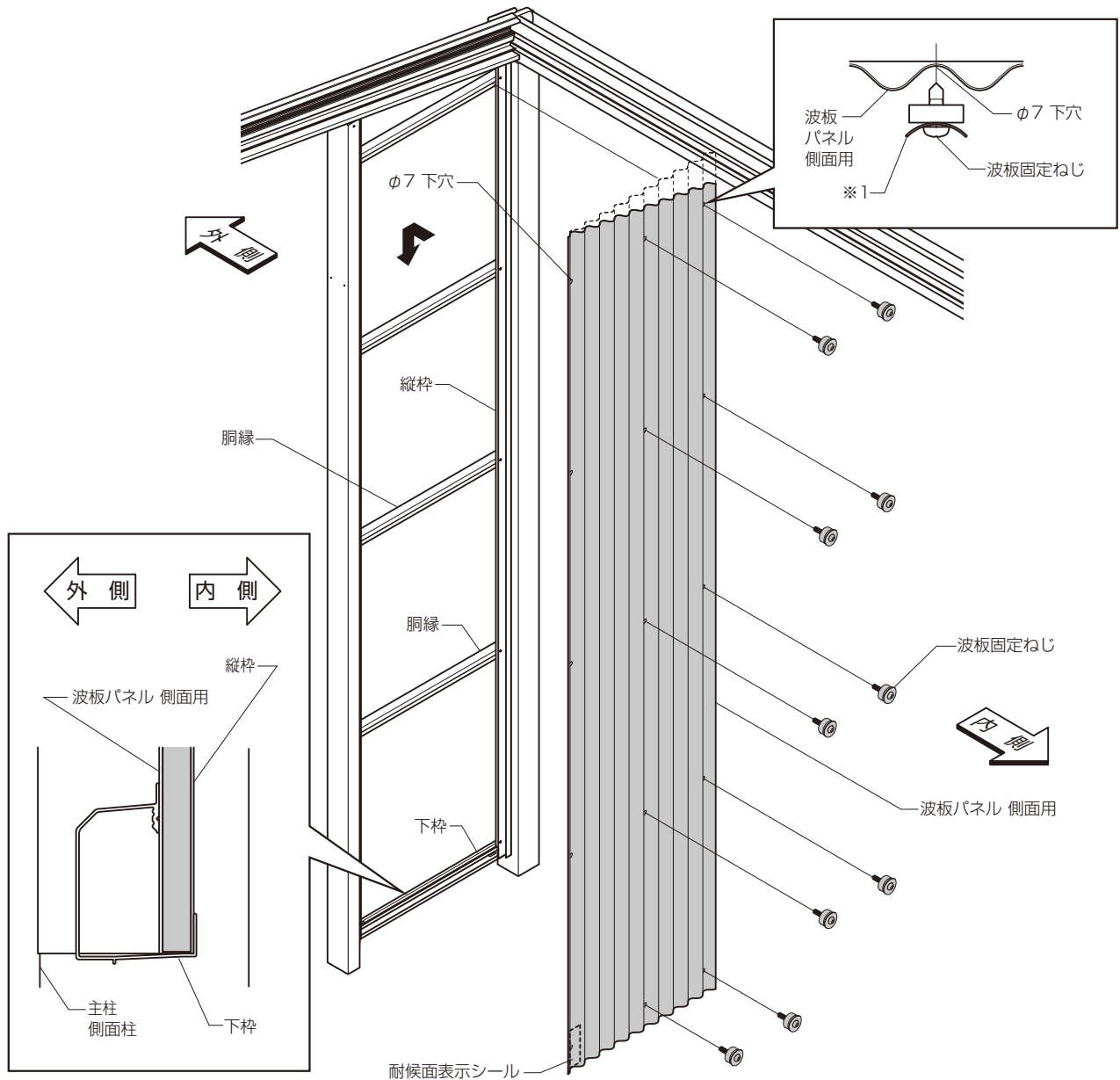
ポイント

- 胴縁は水勾配を上向きに取付けてください。
- 柱位置を移動した場合は、柱内々寸法を計測し胴縁と下枠を切詰めてください。 (*1)

- ① 胴縁のV溝を縦枠の穴にあわせてから、胴縁を縦枠に取付けてください。
- ② 下枠のV溝を縦枠の穴にあわせてから、下枠を縦枠に取付けてください。

6 波板パネルの加工と取付け

※図はヤード仕様で説明していますが、袖壁仕様も同様です。



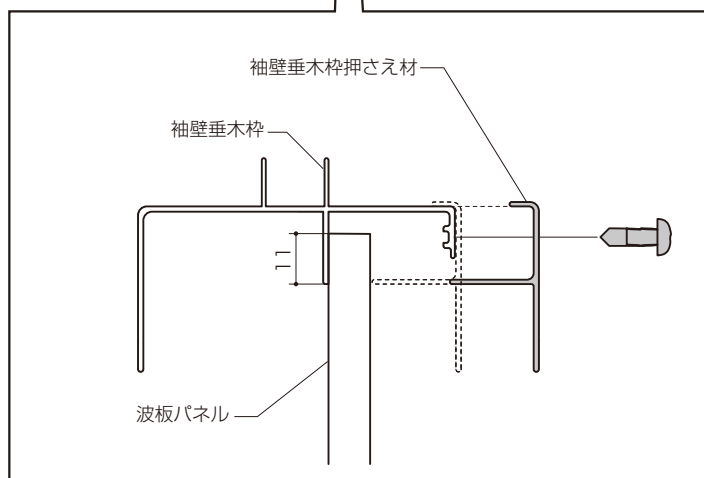
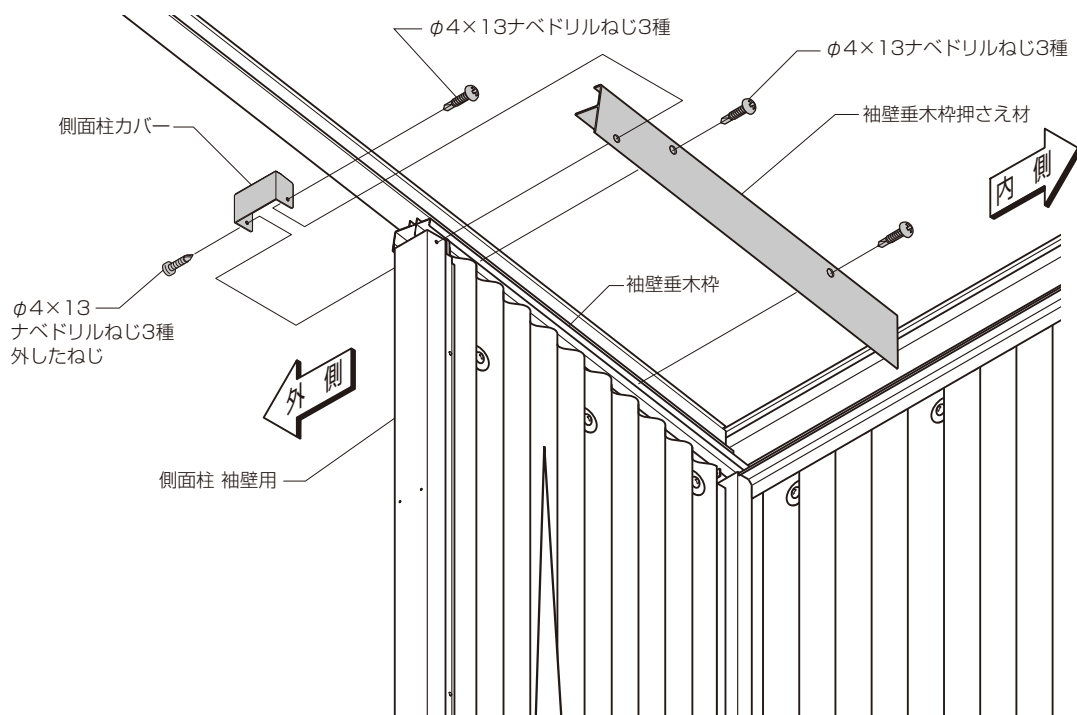
ポイント

- 波板パネルに張ってある耐候面表示シールの内容にしたがって、表裏を確認してください。
- 複数の波板をつなげる場合は、2.5山以上の重ね代を確保してください。
- 波板固定ねじは、波板の谷部に、φ7の下穴を加工してから固定してください。
- 波板固定ねじは、座金部分（※1）を波板側に押さえつけながら取付けてください。
- 波板固定ねじの取付けピッチは、6山以内にしてください。
- 冒頭の「**波板パネルの施工について**」(P.4)を参照して、波板パネルを加工してください。

- ①波板パネルの耐候面表示シールが下側になる向きにして、内観右端から一枚ずつ取付けてください。
- ②波板パネルを縦枠と下枠に差込み、仮置きしてください。
- ③下枠、胴縁のV溝に合わせて、波板の谷部に下穴加工用の印をつけてください。
- ④波板パネルにφ7の下穴を加工してください。
- ⑤波板を下枠と胴縁に固定してください。

7 垂木柵押さえ材と側面柱カバーの取付け

※袖壁仕様の場合の作業です。



- ①袖壁垂木柵押さえ材を袖壁垂木柵に取付けてください。
- ②袖壁垂木柵と側面柱 袖壁用を取付けているねじを外し、側面柱カバーを外したねじとナベドリルねじで取付けてください。

補足

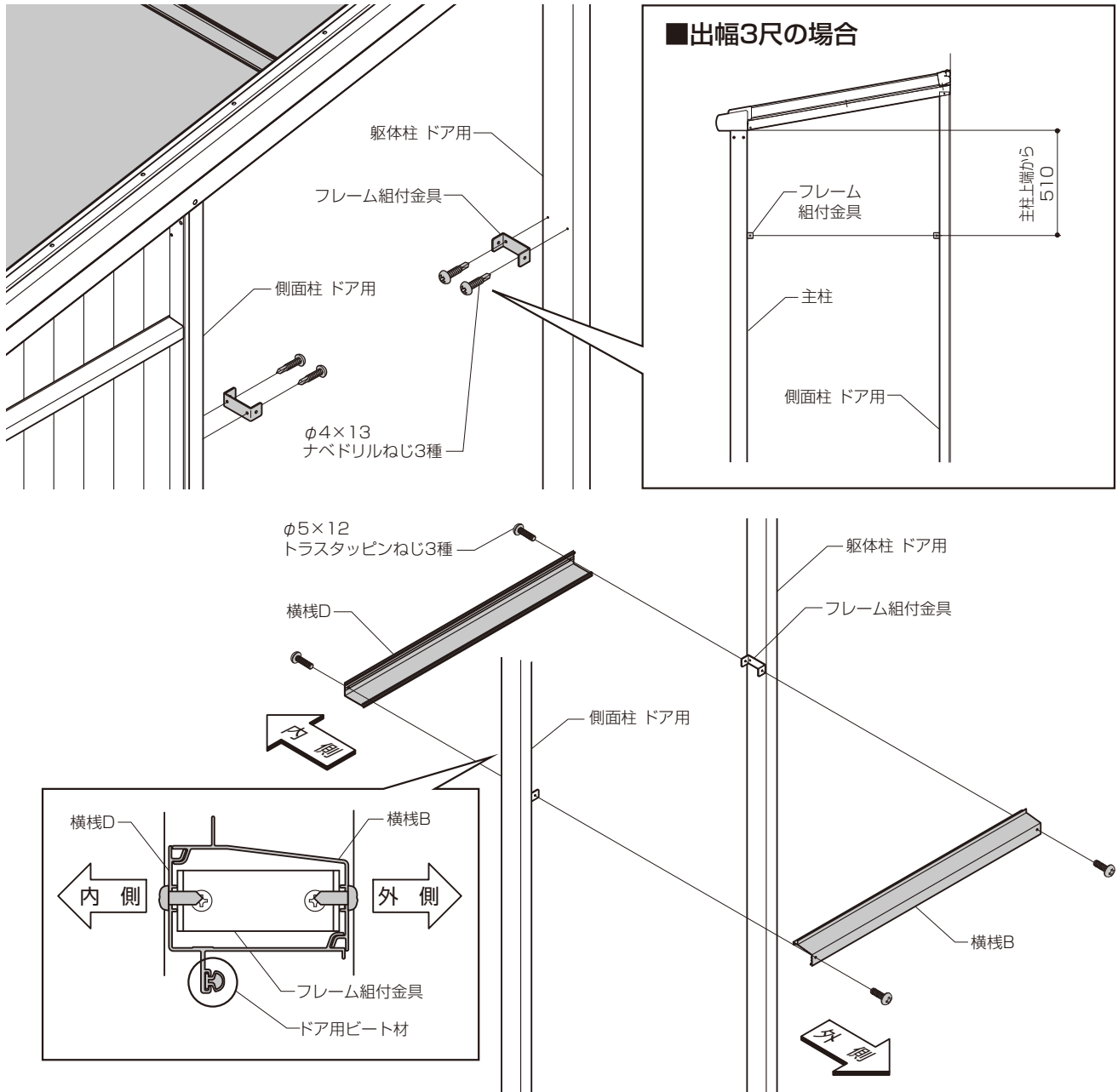
●ヤード仕様の場合は、ランマ部の取付け後に垂木柵押さえ材を取付けます。

■ランマ部の取付け

※図はテラス内観左取付けの場合を示します。内観右の場合は左右が反対になります。

■1横棧の取付け

本体の施工



①出幅3尺の場合、主柱の上端部から510mm下がった位置にフレーム組付金具を柱中心に取付けるための印をつけてください。

✎ 補足

●出幅3尺の躯体柱および出幅4～6尺の側面柱・躯体柱には、フレーム組付金具の取付け穴はあらかじめ加工しています。

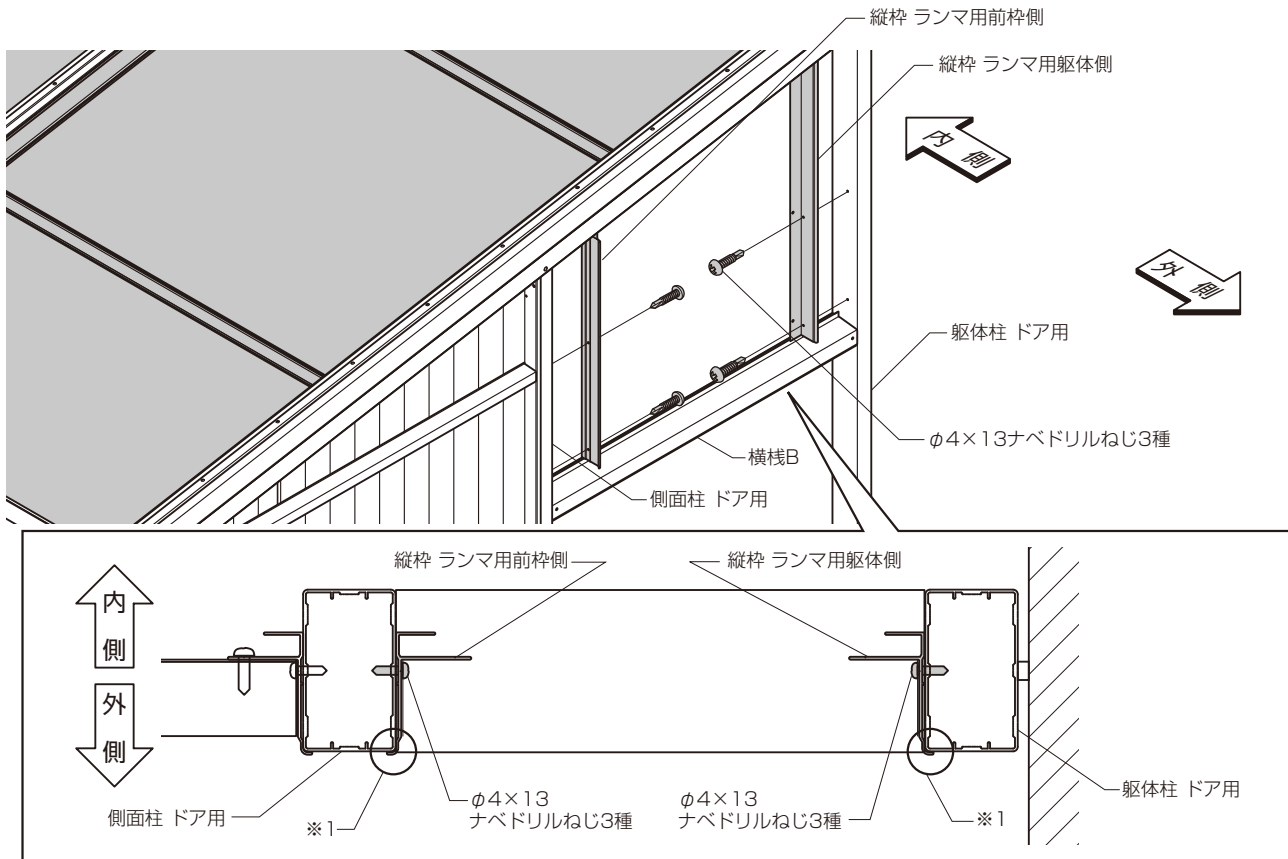
②フレーム組付金具を躯体柱 ドア用、側面柱 ドア用または主柱に取付けてください。

③横棧B、横棧Dを外側と内側からはさみこむようにフレーム組付金具に取付けてください。

🔑 ポイント

●ドア用ビート材が下側になるように取付けてください。

2 縦枠 ランマ用の取付け

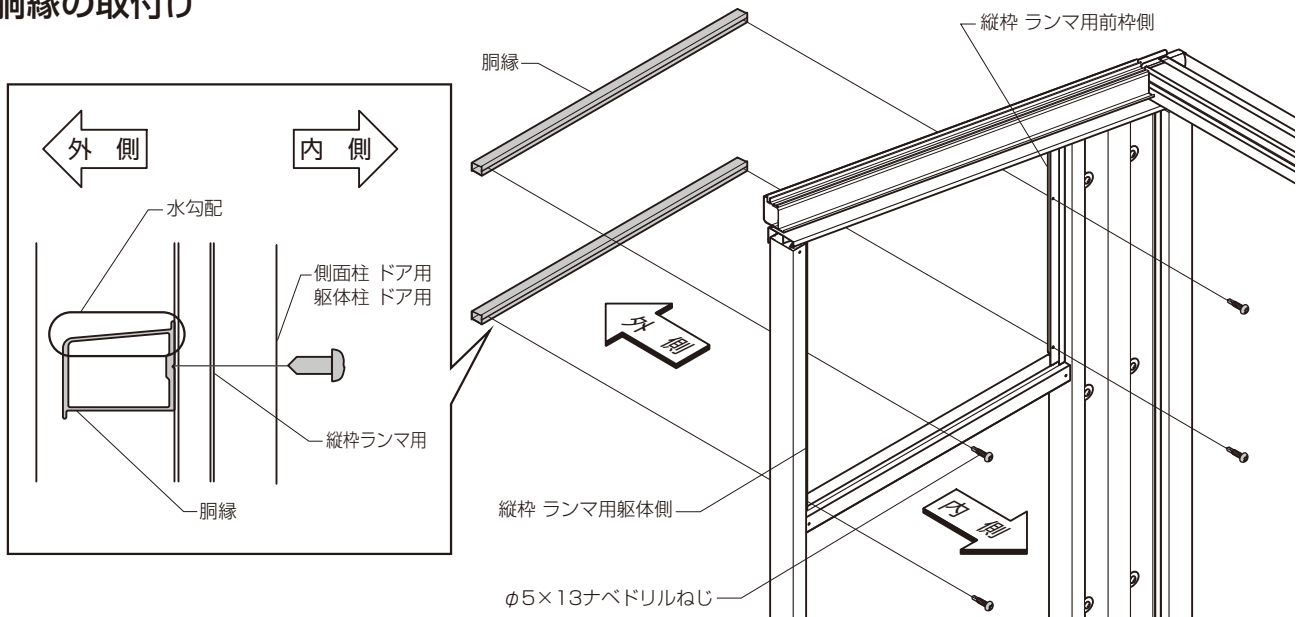


ポイント

●側面柱 ドア用または、躯体柱 ドア用の外側角部に縦枠ランマ用のフィンをあわせてください。(※1)

①縦枠ランマ用を横棧Bに突き当てて、側面柱 ドア用、躯体柱 ドア用に取付けてください。

3 胴縁の取付け

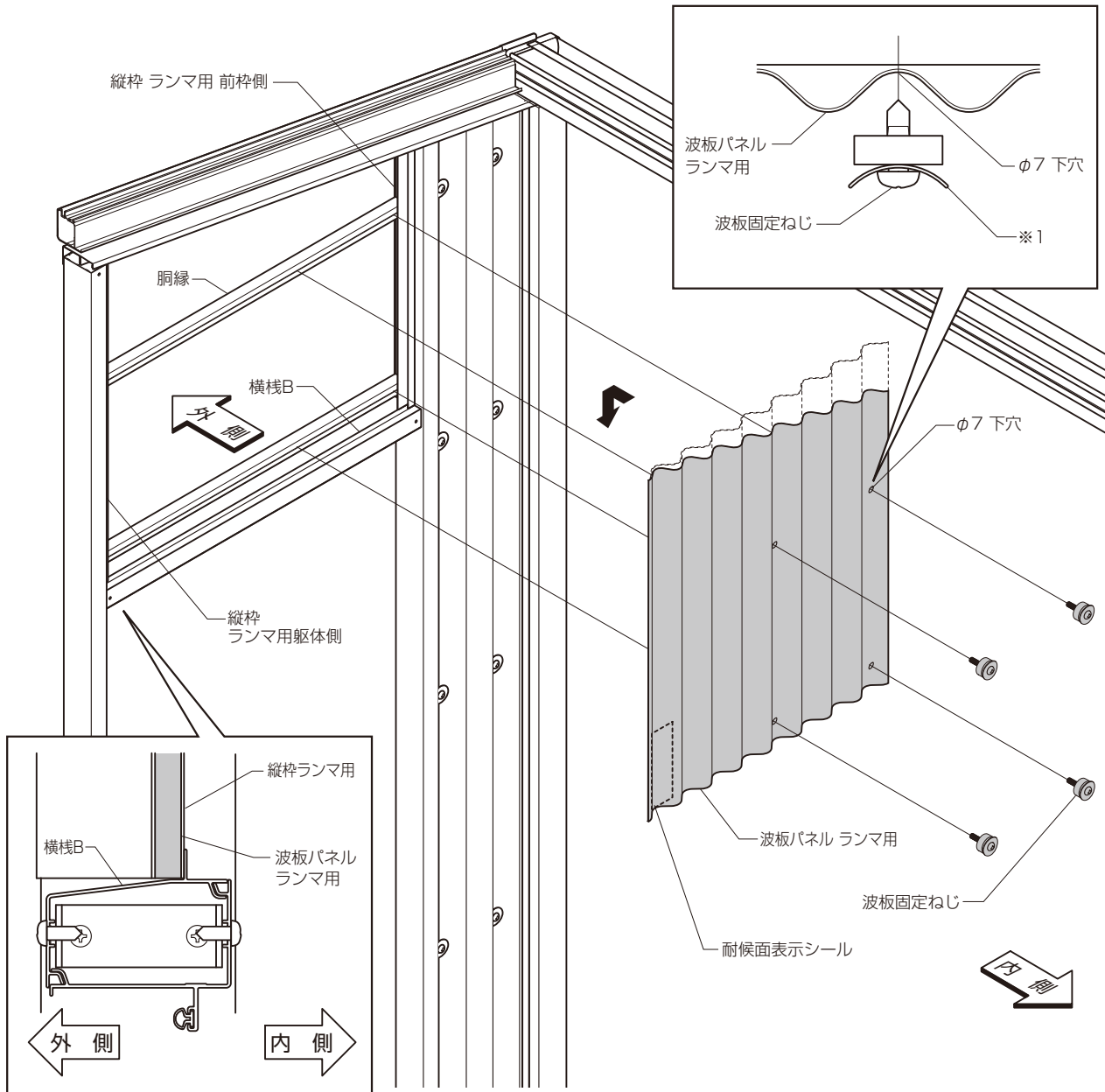


ポイント

●胴縁は水勾配面を上向きに取付けてください。

①胴縁のV溝を縦枠ランマ用の穴にあわせてから、胴縁を縦枠ランマ用に取付けてください。

4 波板パネルの加工と取付け

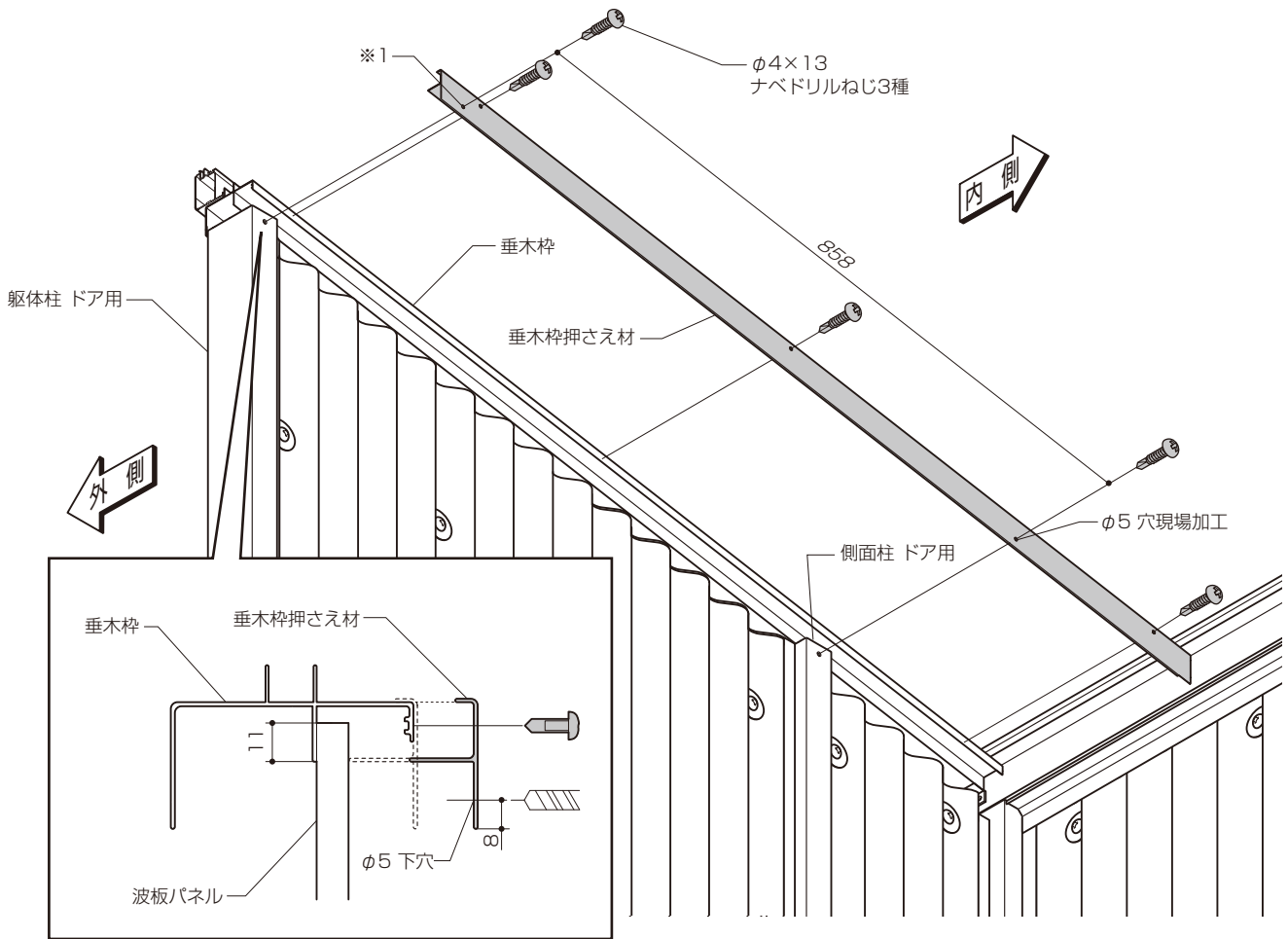


ポイント

- 波板パネルに張ってある耐候面表示シールの内容にしたがって、表裏を確認してください。
- 複数の波板をつなげる場合は、2.5山以上の重ね代を確保してください。
- 波板固定ねじは、波板の谷部に、φ7の下穴を加工してから固定してください。
- 波板固定ねじは、座金部分(※1)を波板側に押さえつけながら取付けてください。
- 波板固定ねじの取付けピッチは、6山以内になしてください。
- 冒頭の「■波板パネルの施工について」(P.4)を参照して、波板パネルを加工してください。

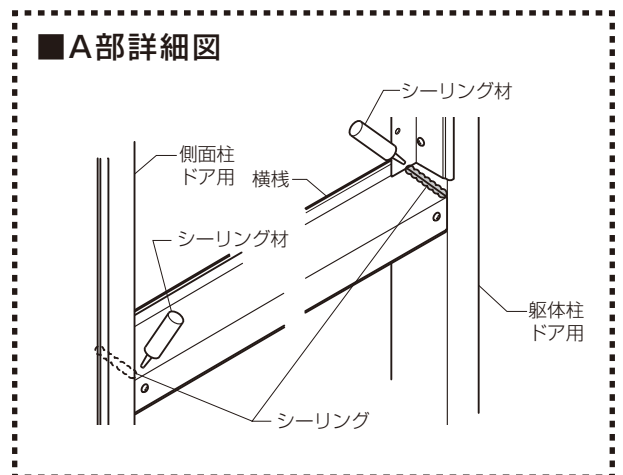
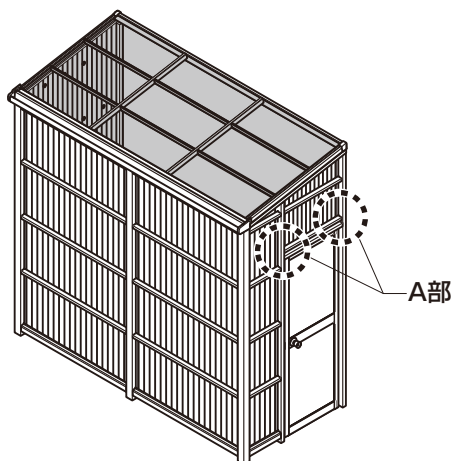
- ① 波板パネルの耐候面表示シールが下側になる向きにして、内観右端から一枚ずつ取付けてください。
- ② 波板パネルを縦枠と横棧Bに差込み、仮置きしてください。
- ③ 胴縁のV溝に合わせて、波板の谷部に下穴加工用の印をつけてください。
- ④ 波板パネルにφ7の下穴を加工してください。
- ⑤ 波板を胴縁に固定してください。

5 垂木拵押さえ材の取付け



- ① 垂木拵押さえ材の躯体柱ドア用取付け穴（※1）から前拵側に858mmの位置に、側面柱 ドア用取付け穴φ5を加工してください。
- ② 垂木拵押さえ材を垂木拵に取付けてください。
- ③ 垂木拵押さえ材を躯体柱ドア用と側面柱ドア用に取付けてください。

6 横棧のシーリング



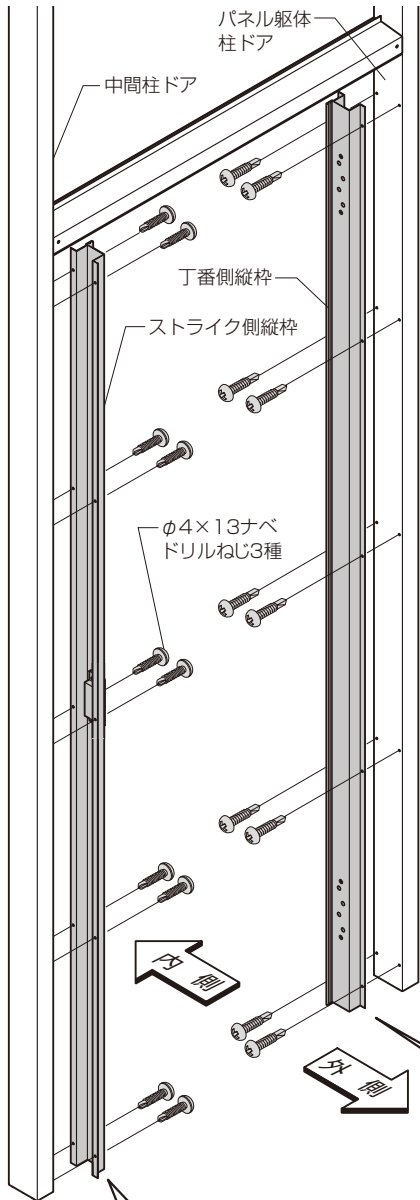
- ① 横棧上面と側面柱 ドア用・躯体柱 ドア用との接続部をシーリングしてください。

■ ドア部の取付け

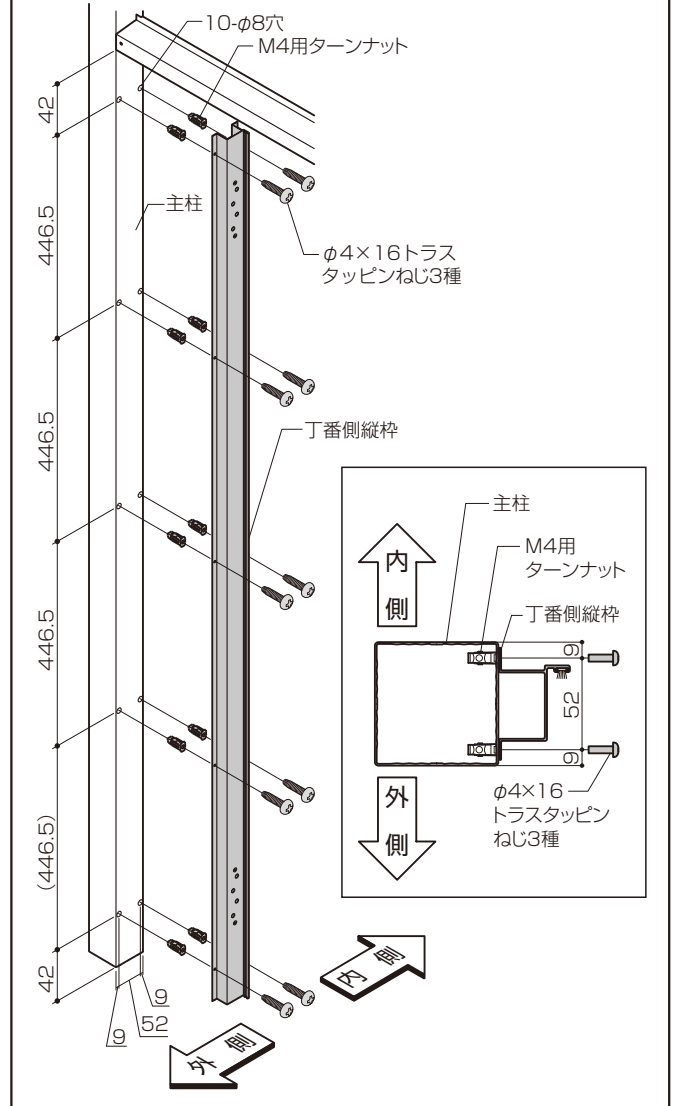
※図はテラス外観右取付けの場合を示します。外観左の場合は左右が反対になります。

1 ドア縦枠の取付け

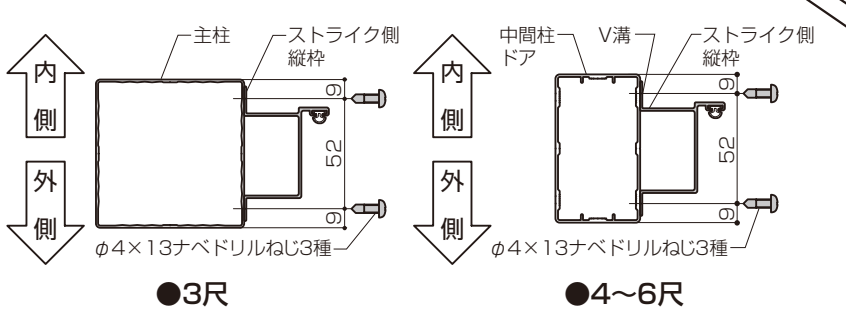
※図は外観右吊元の場合を示します。



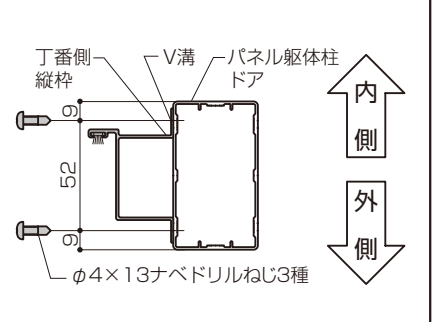
■ ドア支柱側取付け支柱側吊元の場合



■ ストライク側縦枠の取付け



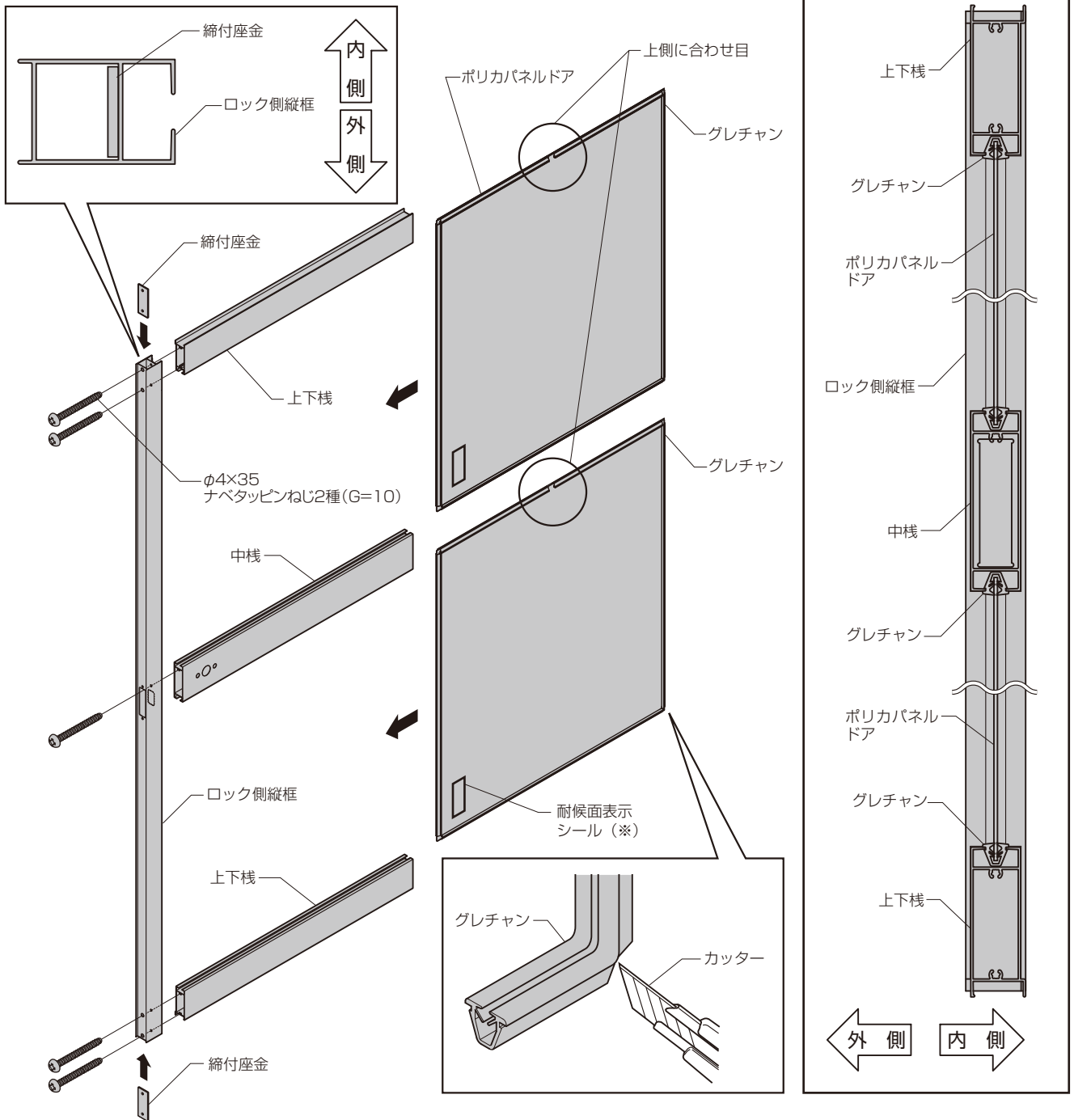
■ 丁番側縦枠の取付け



- ① ストライク側縦枠を支柱または中間柱ドアに当て、上側に突き当てた状態で取付け位置を確認してください。
- ② ストライク側縦枠を支柱または、中間柱ドアに取付けてください。
- ③ 丁番側縦枠を中間柱ドアに当て、上側に突き当てた状態で取付け位置を確認してください。
- ④ 丁番側縦枠を中間柱ドアに取付けてください。

2 ドアの組立て

※図は外観右吊元の場合を示します。



本体の施工

- ①上下棧をロック側縦框に締付座金を入れて取付けてください。
- ②中棧をロック側縦框に取付けてください。
- ③グレチャンをポリカパネルの上側中央から取付けて、角に切り込みを入れて囲むように取付けてください。

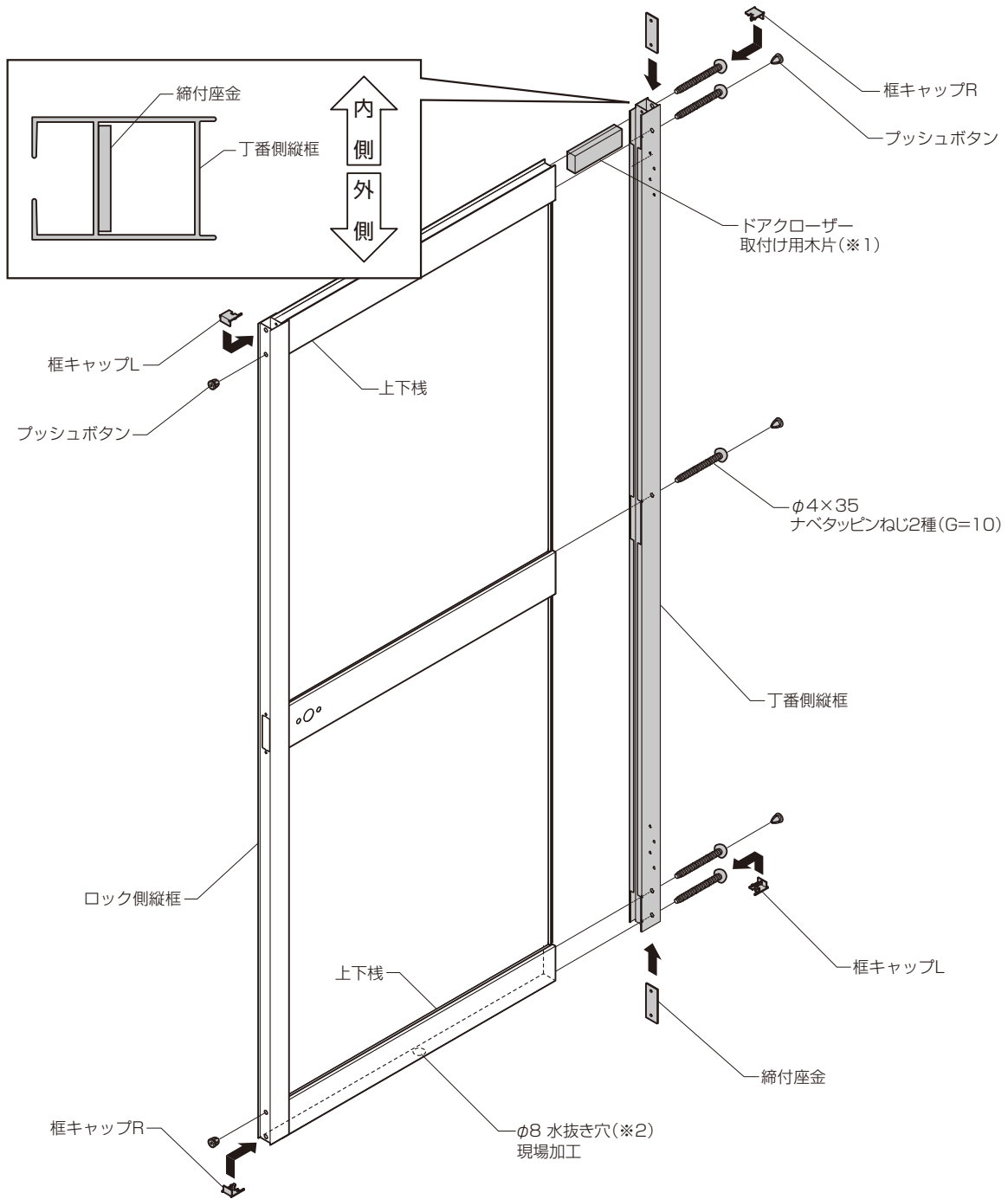
ポイント

- ポリカパネルは、耐候面表示シールの張ってある面が外側になるように取付けてください。(※)
- グレチャンが入りにくい場合は、ビードローラー等の工具を使って取付けてください。

- ④ポリカパネルを棧に取付けてください。

2 (つづき)

※図は外観右吊元の場合を示します。



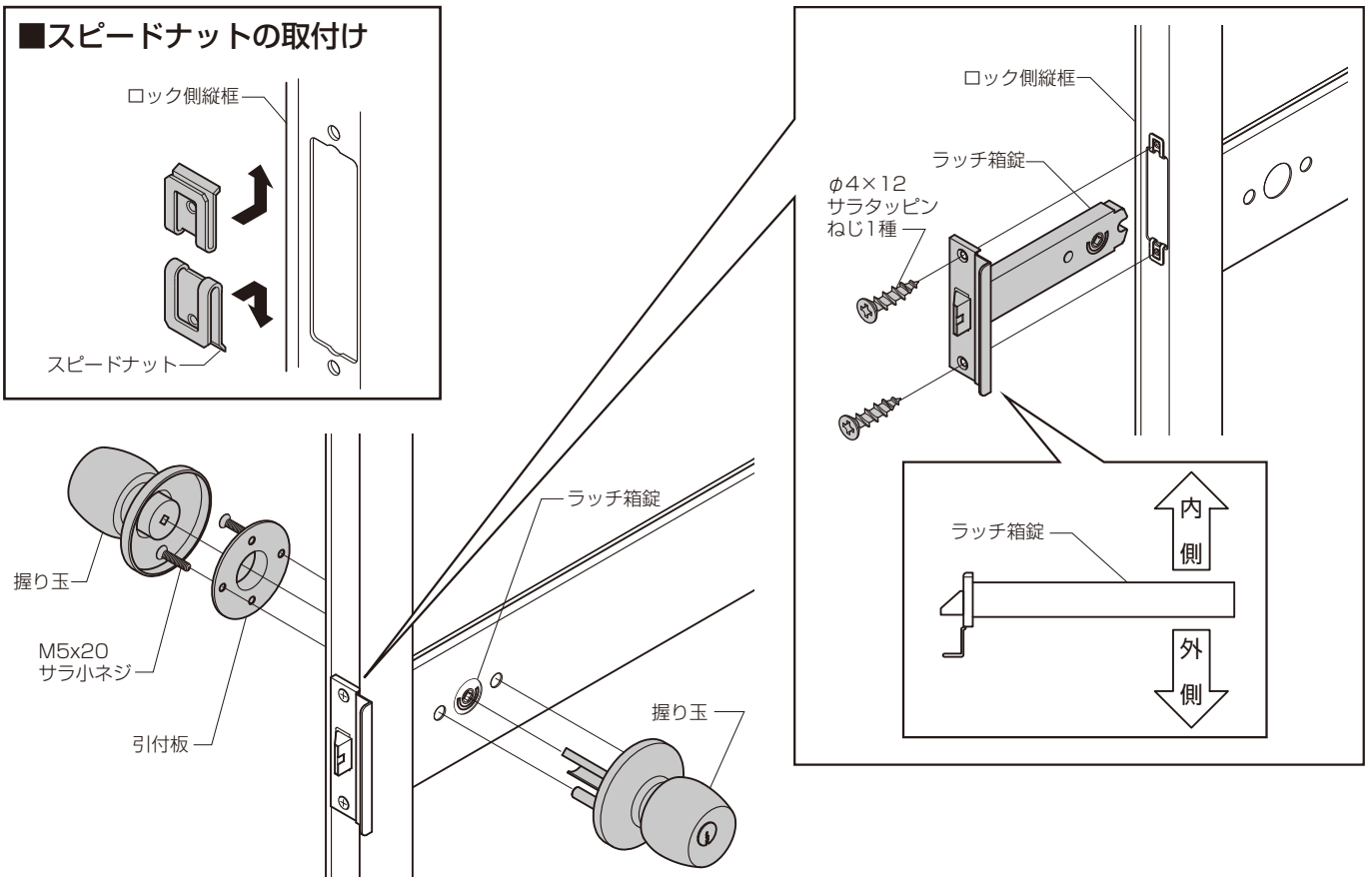
- ⑤ 上側の上下棧にドアクローザー取付け用木片を挿入してください。
- ⑥ 丁番側縦框に締付座金を入れて取付けてください。
- ⑦ フレームキャップL、Rを4カ所ロック側縦框および丁番側縦框に取付けてください。
- ⑧ プッシュボタンを5カ所ロック側縦框および丁番側縦框に取付けてください。
- ⑨ G.L.側の上下棧の下面中央にφ8水抜き穴を空けてください。(※2)

補足

- 後付けを可能にするためドアクローザー **オプション** を取付けない場合でも、上側の上下棧にドアクローザー取付け用木片を挿入してください。(※1)

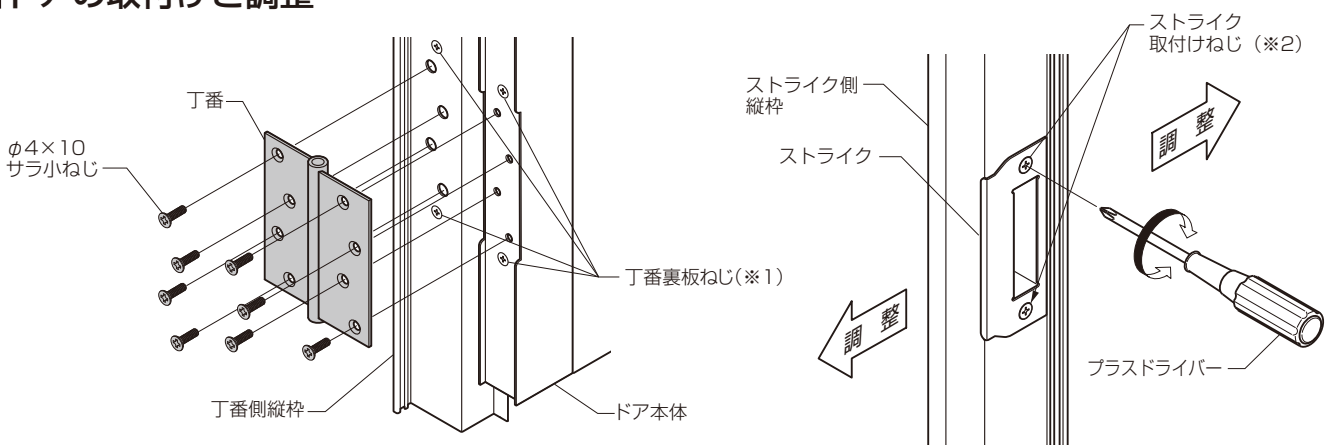
2 (つづき)

※図は外観右吊元の場合を示します。



- ⑩スピードナットをロック側縦枠に、取付けてください。
- ⑪ラッチ箱錠をロック側縦枠に取付けてください。
- ⑫握り玉を中棧に取付けてください。

3 ドアの取付けと調整



- ①丁番をドア本体取付けてください。
- ②丁番側縦枠にドア本体を取付けてください。

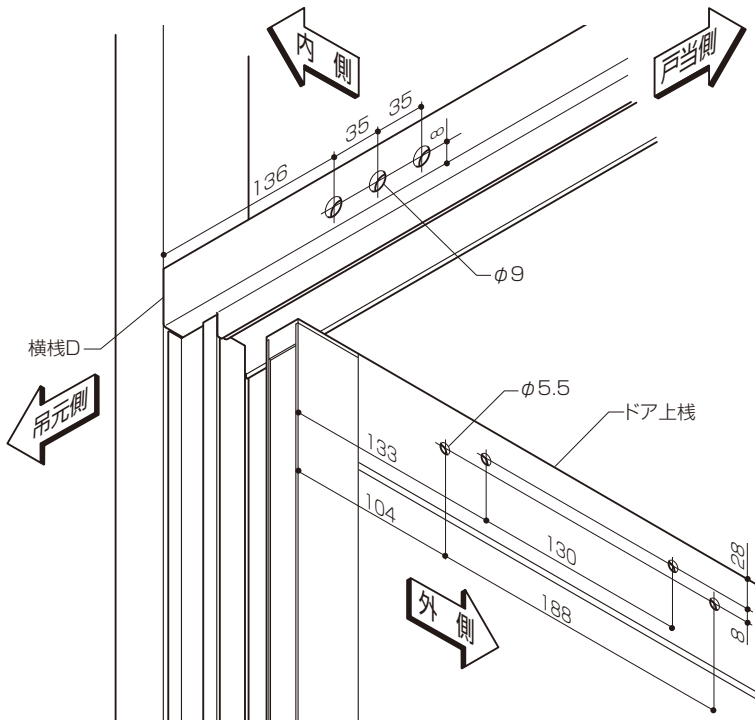
ポイント

- 丁番が取付けにくい場合は、丁番裏板ねじを調整して取付けてください。(※1)
- ドアの締まりが悪いときには、ストライク側縦枠のストライク取付けねじをゆるめてストライクを調節してください。(※2)
- ドアクローザー **オプション** を取付ける場合、ドアクローザー取付け用木片を吊元側に寄せてから丁番を取付けてください。

■ ドアクローザーの取付け **オプション**

※図は外観右吊元を示します。

1 座板・ブラケット取付け穴の加工



① ドア上棧にφ5.5の穴を4カ所あけてください。

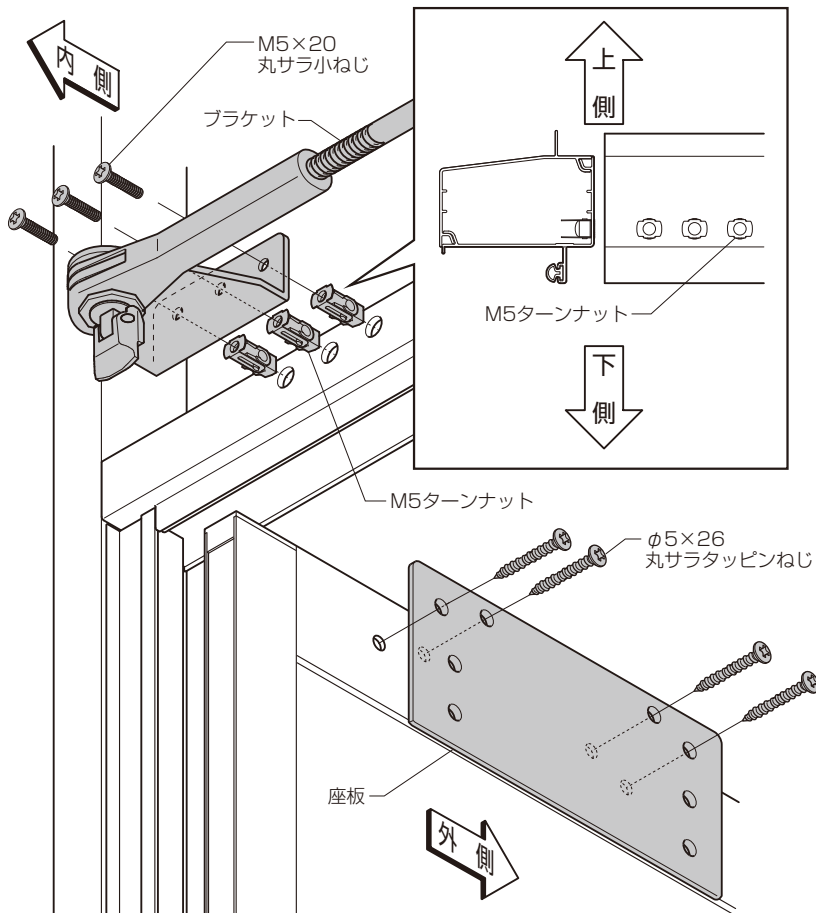
🔑 ポイント

● ドア上棧の穴は、型材(上棧)だけにあけてください。
内部の木部まであけると、ねじがきかなくなりしますので注意してください。

② 横棧Dにφ9の穴を3カ所あけてください。

本体の施工

2 座板・ブラケットの取付け



① 座板を固定してください。

🔑 ポイント

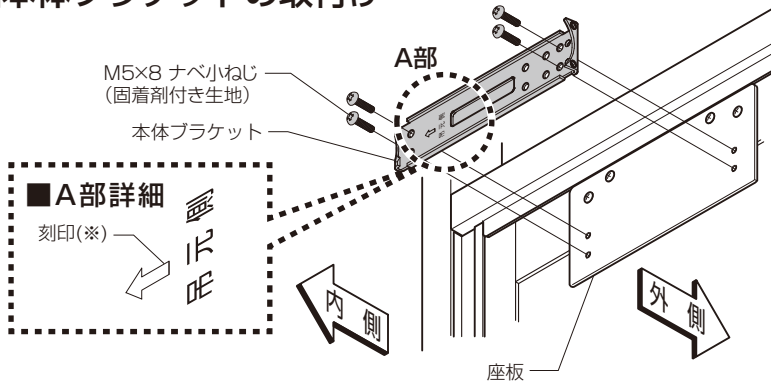
● 座板はドアクローザー取付け用木片に固定します。

② ブラケットを取付けてください。

🔑 ポイント

● M5ターンナットの取付け方向に注意してください。ブラケットが取付けできなくなります。
● 取付けねじの締付けがゆるいとぐらつき、落下・故障の原因になります。

3 本体ブラケットの取付け

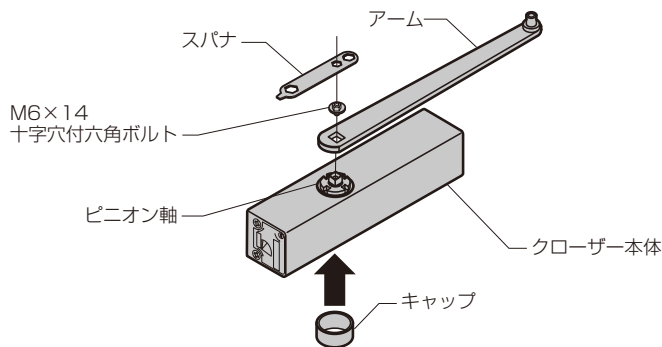


- ① 本体ブラケットの刻印(*)を吊元側に向け、取付けてください。

ポイント

- 取付けねじの締付けがゆるいとぐらつき、落下・故障の原因になります。

4 アームの取付け



- ① ピニオン軸にアームをはめ込んで、六角ボルトで固定してください。
- ② キャップを下からはめてください。

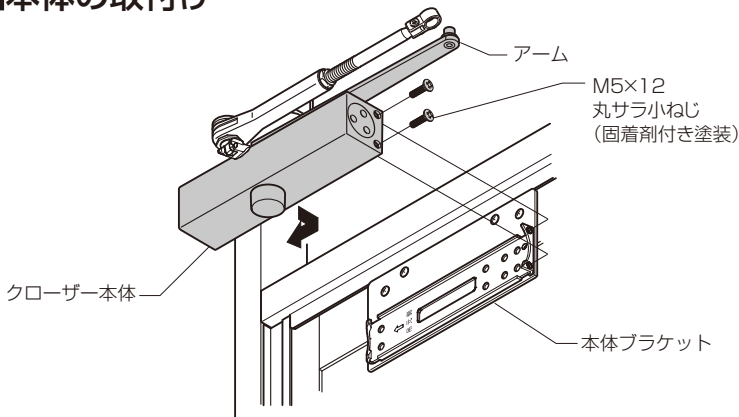
ポイント

- アームはめ込み時、ハンマーなどでたたかないでください。破損や油もれの原因になります。
- 取付けねじの締付けがゆるいと、アームが外れ故障の原因になります。
- アームとクローザー本体が平行になるように取付けてください。故障の原因になります。

補足

- 固定には付属のスパナを使用してください。

5 本体の取付け

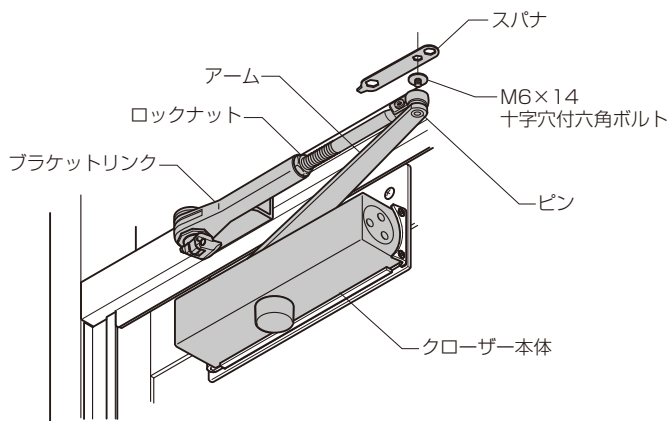


- ① 図のようにクローザー本体を本体ブラケットに、スライドしてはめ込んでください。
- ② 図のようにクローザー本体を固定してください。

ポイント

- 取付けねじの締付けがゆるいと、本体がぐらつき、落下・故障の原因になります。

6 アームの連結



- ① ロックナットを回転し、アーム先端のピンとブラケットリンク先端の穴の位置を合わせてください。
- ② ブラケットリンク先端の穴にアーム先端のピンを差し込み、六角ボルトをしっかりと締付けてください。

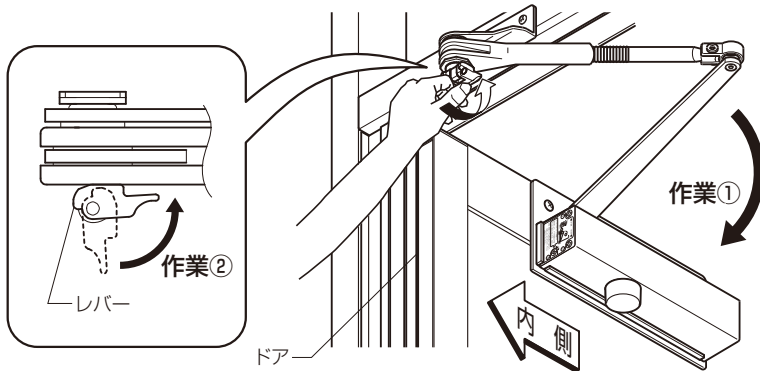
補足

- 固定には付属のスパナを使用してください。

ポイント

- 取付けねじの締付けがゆるいと、アームの連結が外れ故障の原因になります。

7 ストップ角度の設定

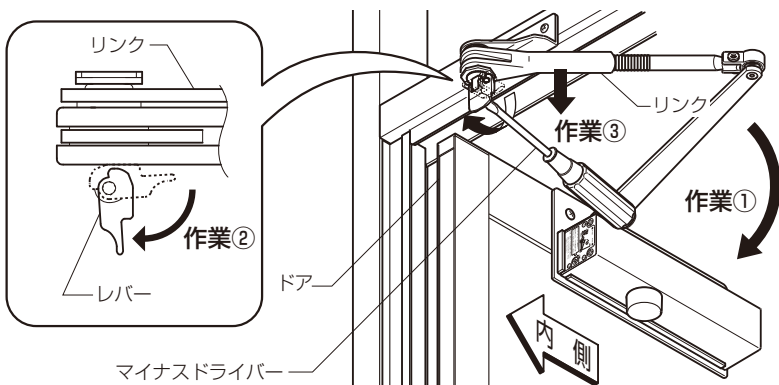


- ① ドアをストップさせたい角度まで開いてください。
- ② 開いた位置でレバーを手で完全に押し倒してください。レバーが完全に押し倒せない場合はドアを前後にゆすりながら押し倒してください。

ポイント

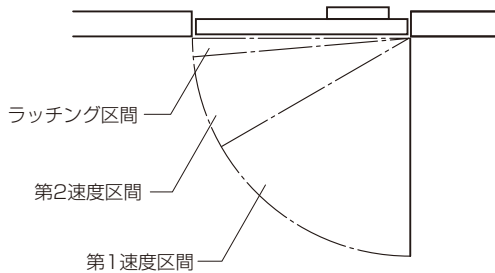
- レバーを倒すとき、ハンマーなどでたたかないでください。たたくとストップ装置の故障の原因になります。

8 ストップ角度を変更する場合



- ① ドアを開きストップ状態にしてください。
- ② 手またはマイナスドライバーでレバーを起こしてください。
- ③ ドアを開く方向に押しながら、リンクの↓部をいっばいに引降ろすとストップ機構が解除し設定前の状態に戻ります。
- ④ 「7 ストップ角度の設定」手順①～②にしたがってストップ角度の調整を行ってください。

9 ドアクローザーの速度調整



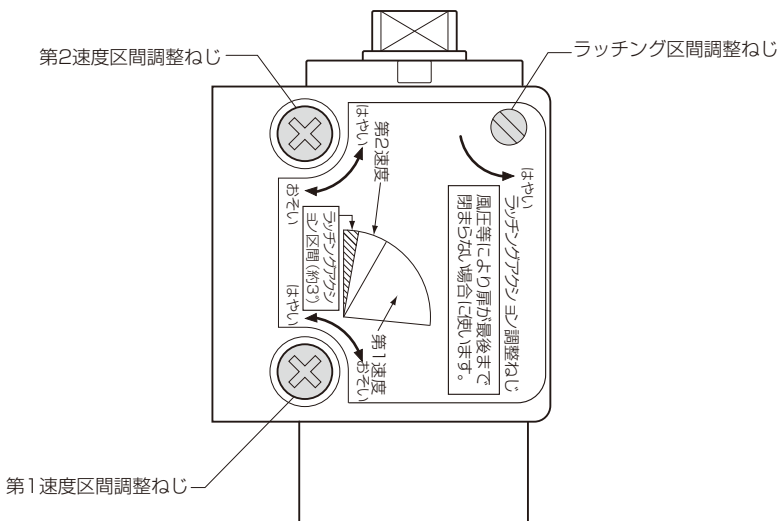
- ① 閉じ速度は本体の吊元側についている各調整ねじで調整してください。

注意

- 閉じ速度は早くしすぎないでください。思わぬ事故を起こすおそれがあります。

ポイント

- 調整ねじは、反時計まわりに1回転以上回転しないでください。油もれを起こし正常に機能しなくなるおそれがあります。



- ② ラッチングアクションは、ドアが閉鎖位置直前(約3°)まできた時点でドアを素早く閉める機能です。風が強くとドアが閉まりきららない場合に使用します。

ポイント

- ドアの閉じ始めから閉じ終わりまで5秒～8秒になるように調整してください。

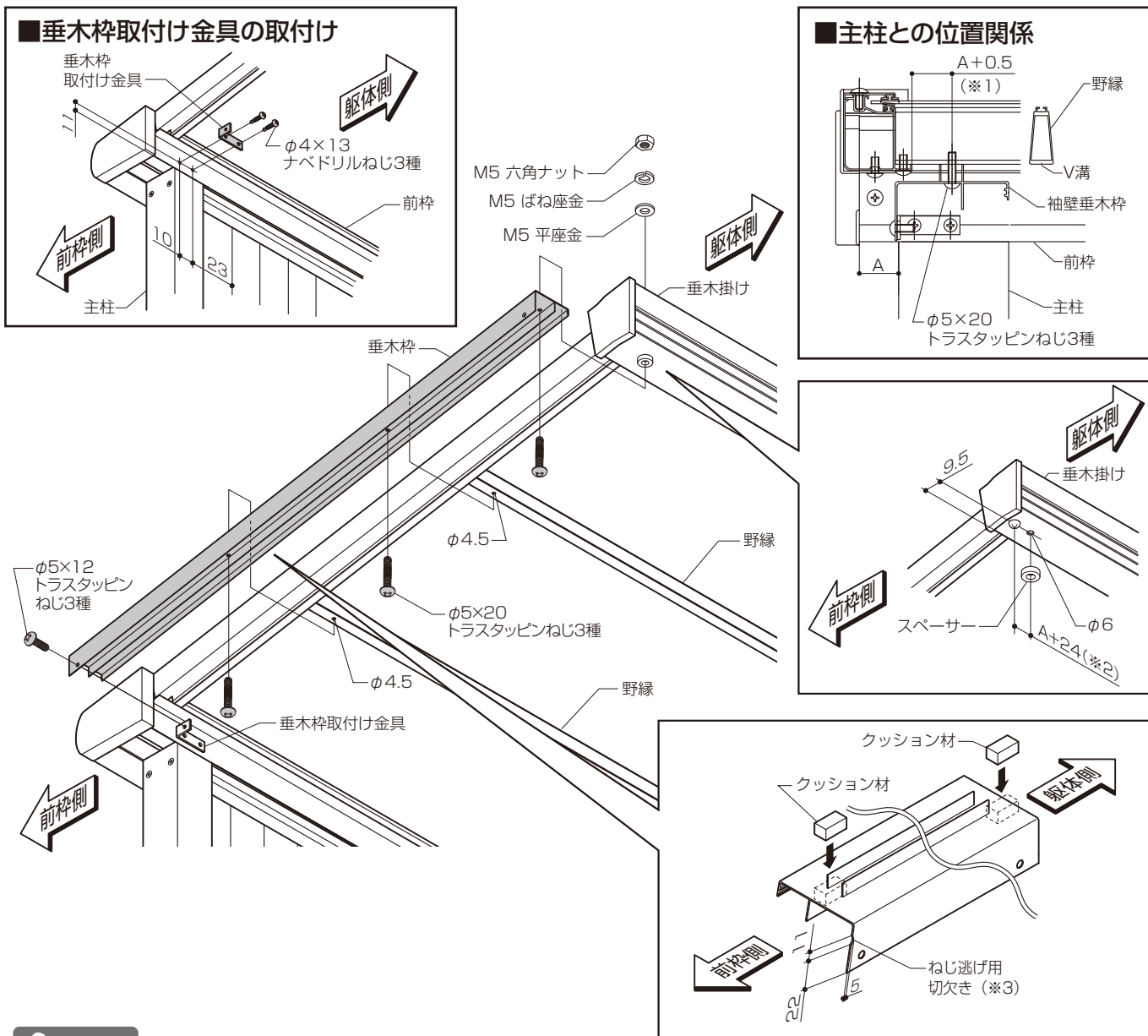
補足

- ドアクローザーは第1速度区間では早く、第2速度区間でゆっくり、ラッチング区間ですばやく閉まるように調整するとスムーズに閉まります。それぞれの目的に応じて、調整を行ってください。

■側面FIXの取付け

※図はテラス内観左取付けの場合を示します。内観右の場合は左右が反対になります。

1 垂木柵 FIXの取付け



ポイント

●垂木柵取付け金具の取付け位置は、主柱の位置により変動します。

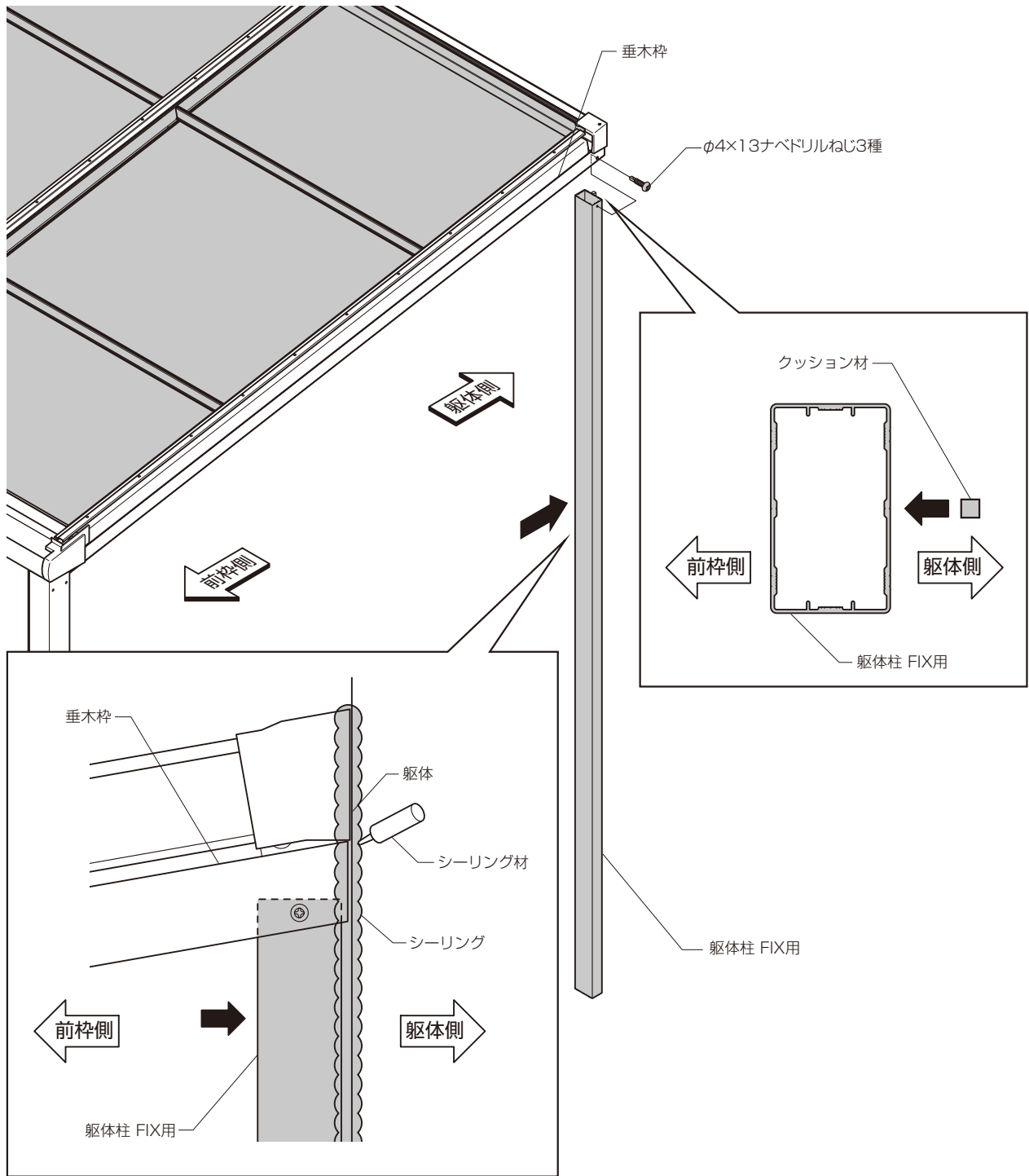
- ①主柱の外側面から10mmの位置のV溝に、ねじ固定個所の印をつけてください。
- ②垂木柵取付け金具を前柵に取付けてください。
- ③野縁に垂木柵取付け用の $\phi 4.5$ 下穴を加工してください。
- ④垂木掛けに垂木柵取付け用の $\phi 6$ 下穴を加工してください。
- ⑤垂木掛けの下面の④で加工した穴に合わせて、スパースーを張付けてください。

ポイント

- 野縁と垂木掛けの下穴加工位置 (※1、※2) は、主柱の位置により変動します。前柵の形材端部から主柱外面までの寸法Aを計測して、取付け位置を確認してください。
- 主柱の位置により、前柵端部キャップ固定ねじと垂木柵が干渉する場合があります。その場合は、垂木柵をねじ頭分だけ切欠いて取付けてください。(※3)

- ⑥垂木柵の両端部上面のフィン切欠き部にクッション材を張付けてください。クッション材は切断して使用してください。
- ⑦垂木柵を垂木柵取付け金具、野縁、垂木掛けに取付けてください。

2 躯体柱FIX用の取付け

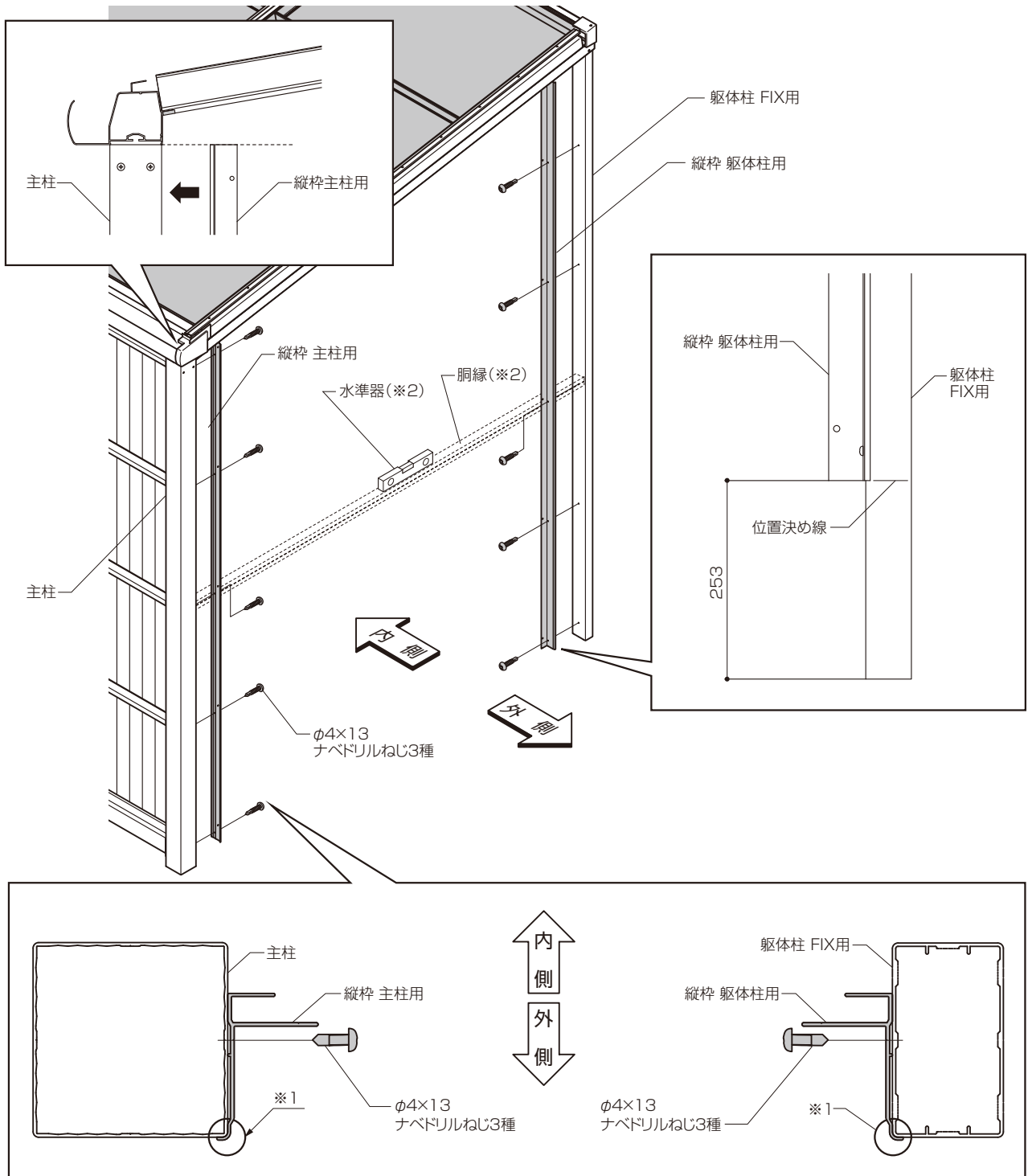


ポイント

- 躯体柱 FIX用には上下方向があります。端部に穴加工がある方が上側です。
- 躯体柱 FIX用の基礎コンクリート硬化後に、躯体柱 FIX用と躯体のすき間をシーリングしてください。

① 躯体柱 FIX用の躯体側の面にクッション材を張付けて、躯体に押しつけながら垂木に取付けてください。

3 縦枠の取付け

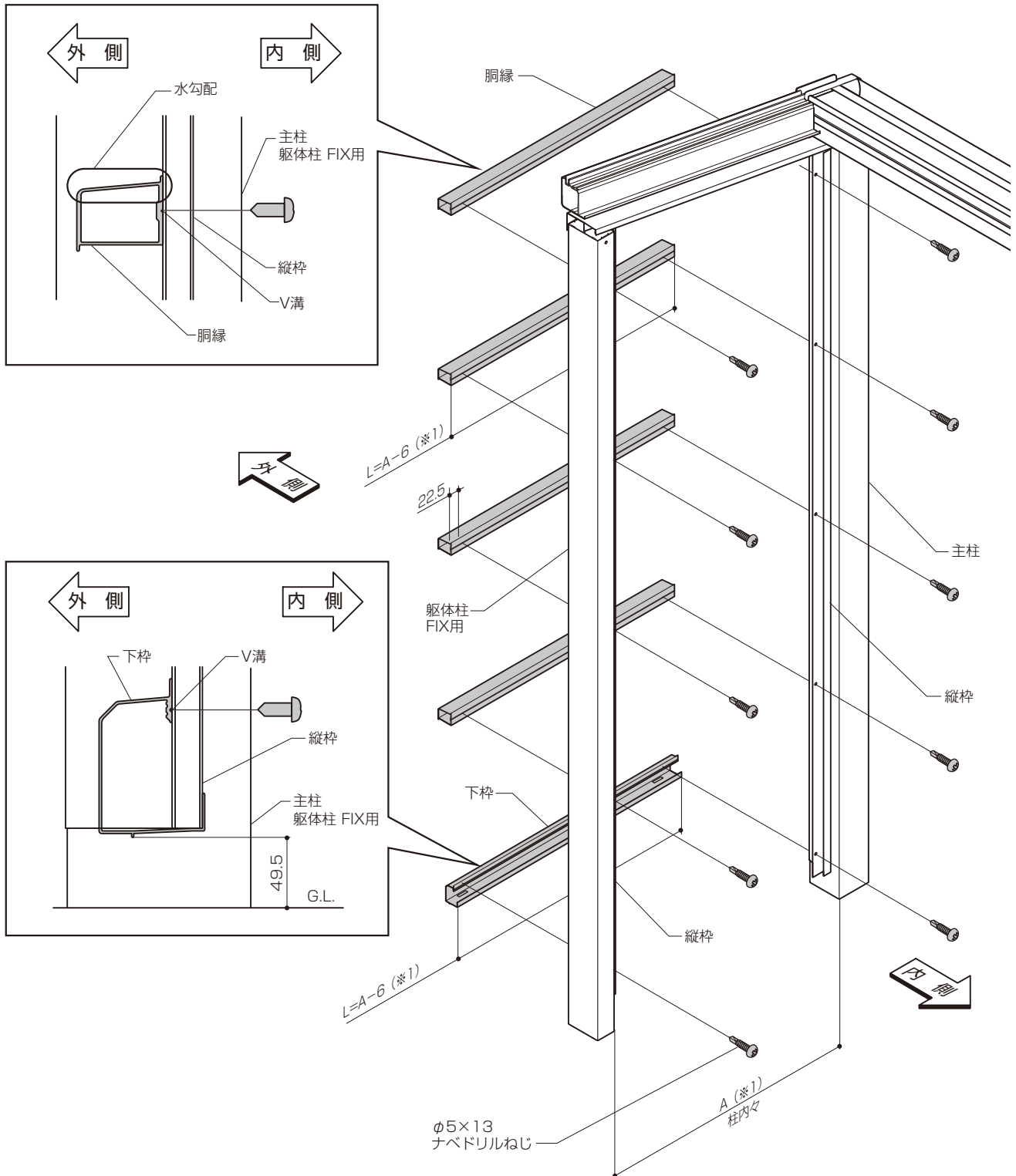


ポイント

- 縦枠 主柱用と縦枠 躯体柱用は長さが異なります。短い方が縦枠 主柱用です。
- 主柱または躯体柱の外側角部に、縦枠のフィンをすきまが出ないようにあわせてください。(※1)
- 現場状況によっては設定位置がずれる場合があるので胴縁で水平の確認をしてください。(※2)

- ①縦枠 主柱用を主柱に当て、上側に突き当たった位置で、縦枠 主柱用を主柱に取付けてください。
- ②躯体柱の下端部から253mmの位置に縦枠位置決めのための線を鉛筆で引いてください。
- ③縦枠 躯体柱用を躯体柱に当て、②で引いた線に縦枠の下面をあわせて、縦枠 躯体柱用を躯体柱に取付けてください。

4 胴縁と下枠の取付け

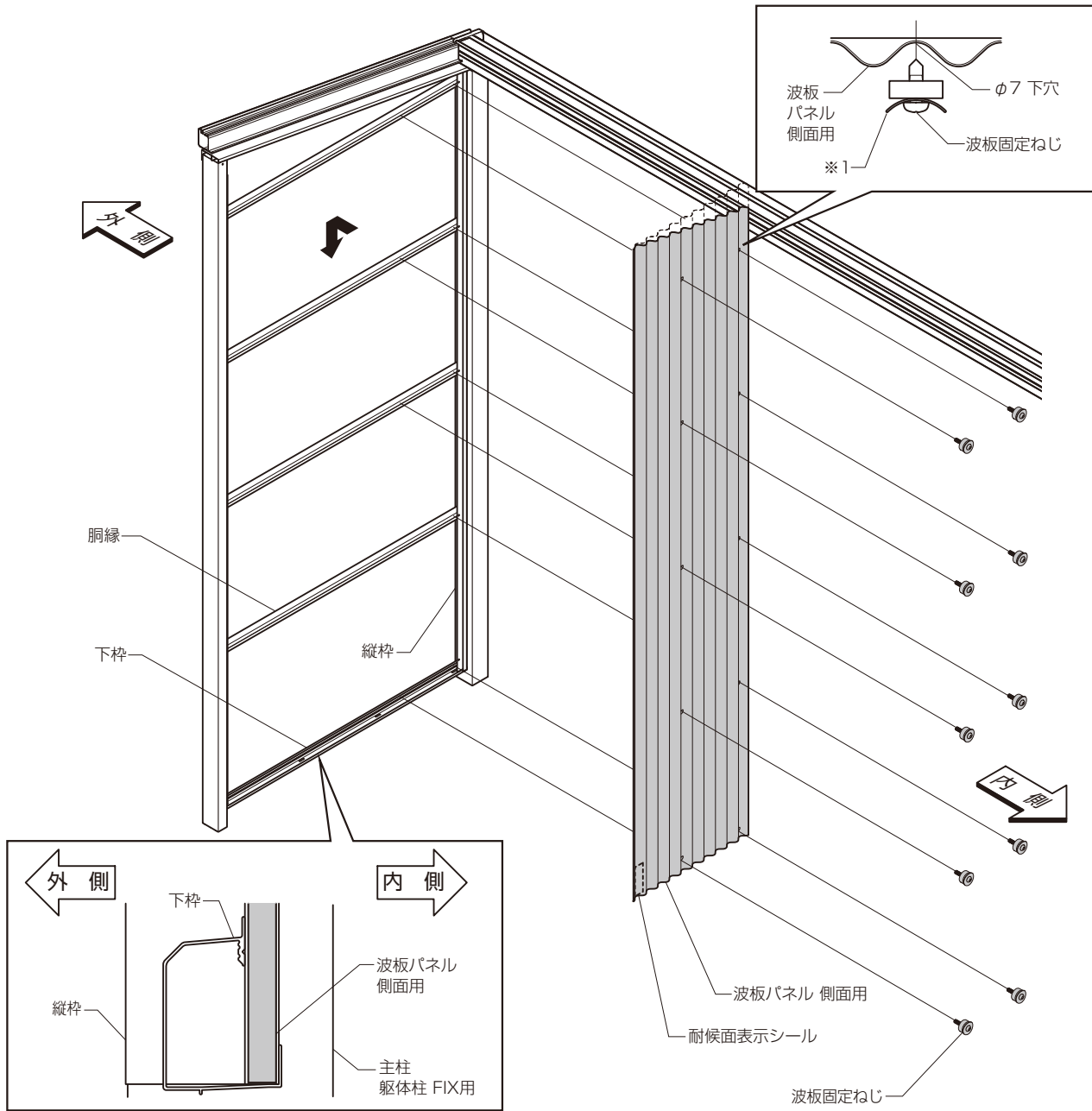


ポイント

- 胴縁は水勾配面を上向きに取付けてください。
- 柱位置を移動した場合は、柱内々寸法を計測し胴縁と下枠を切詰めてください。 (*1)

- ① 胴縁のV溝を縦枠の穴にあわせてから、胴縁を縦枠に取付けてください。
- ② 下枠のV溝を縦枠の穴にあわせてから、下枠を縦枠に取付けてください。

5 波板パネルの加工と取付け

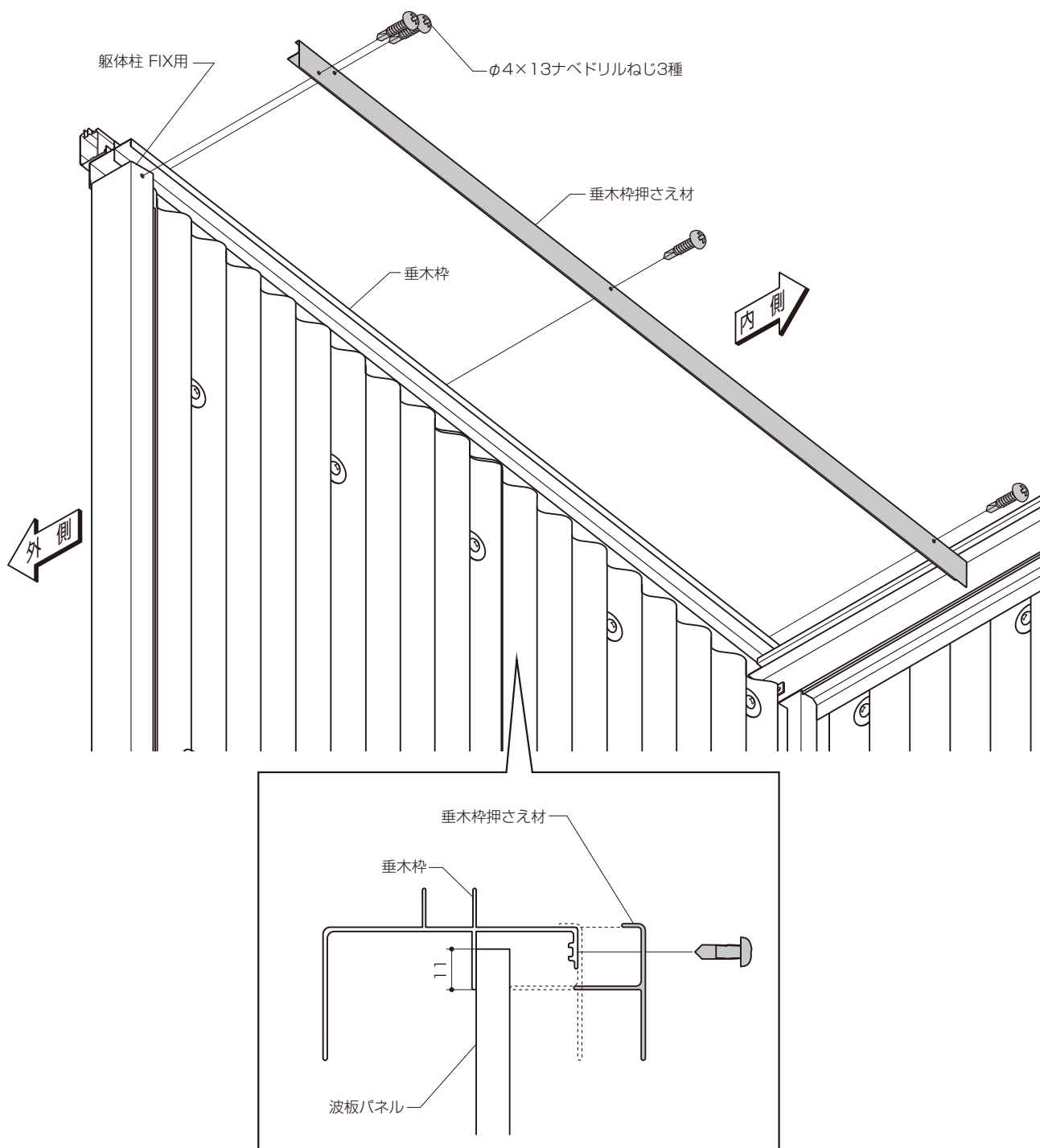


ポイント

- 波板パネルに張ってある耐候面表示シールの内容にしたがって、表裏を確認してください。
- 複数の波板をつなげる場合は、2.5山以上の重ね代を確保してください。
- 波板固定ねじは、波板の谷部に、φ7の下穴を加工してから固定してください。
- 波板固定ねじは、座金部分(*1)を波板側に押さえつけながら取付けてください。
- 波板固定ねじの取付けピッチは、6山以内にしてください。
- 冒頭の「■波板パネルの施工について」(P.4)を参照して、波板パネルを加工してください。

- ① 波板パネルの耐候面表示シールが下側になる向きにして、内観右端から一枚ずつ取付けてください。
- ② 波板パネルを縦枠と下枠に差込み、仮置きしてください。
- ③ 下枠、胴縁のV溝に合わせて、波板の谷部に下穴加工用の印をつけてください。
- ④ 波板パネルにφ7の下穴を加工してください。
- ⑤ 波板を下枠と胴縁に固定してください。

6 垂木枠押さえ材の取付け

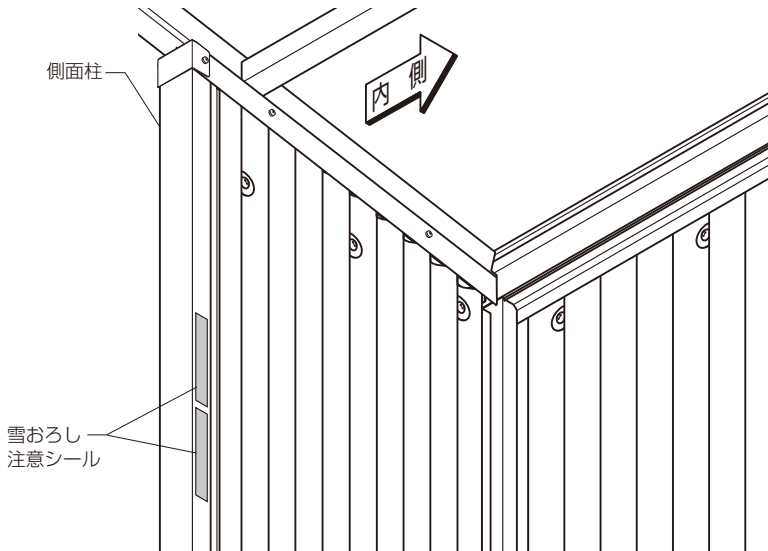


- ①垂木枠押さえ材を垂木枠に取付けてください。
- ②垂木枠押さえ材を躯体柱 FIX用に取付けてください。

■雪おろし注意シール・ブランドラベルの張付け

①雪おろし注意シールの張付け

※「袖壁仕様」と「ヤード仕様」の場合の作業です。



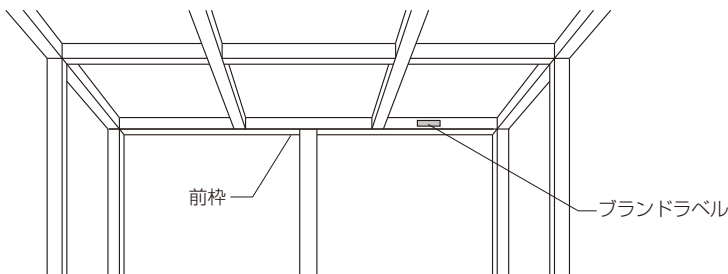
①側面柱の内側に雪おろし注意シールを縦に並べて張付けてください。

⚠ 注意

●雪おろし注意シールは、施主さまに安全に使用していただくために必要です。

②ブランドラベルの張付け

※1500タイプの場合の作業です。

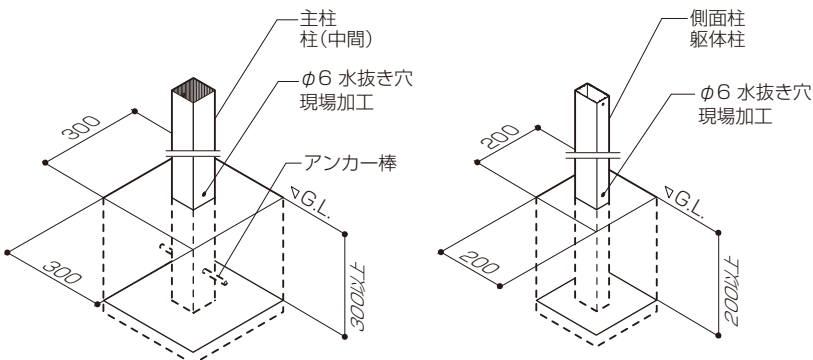


①前枠に張付いている「テラス」のブランドラベルの上に、「ストックヤード」のブランドラベルを重ねて張付けてください。

⚠ 注意

●ブランドラベルは、施主さまに安全に使用していただくために必要です。

■柱の固定



🔑 ポイント

●柱の基礎穴にコンクリートを施工する前に、以下の項目を確認し必要に応じて調整をしてください。

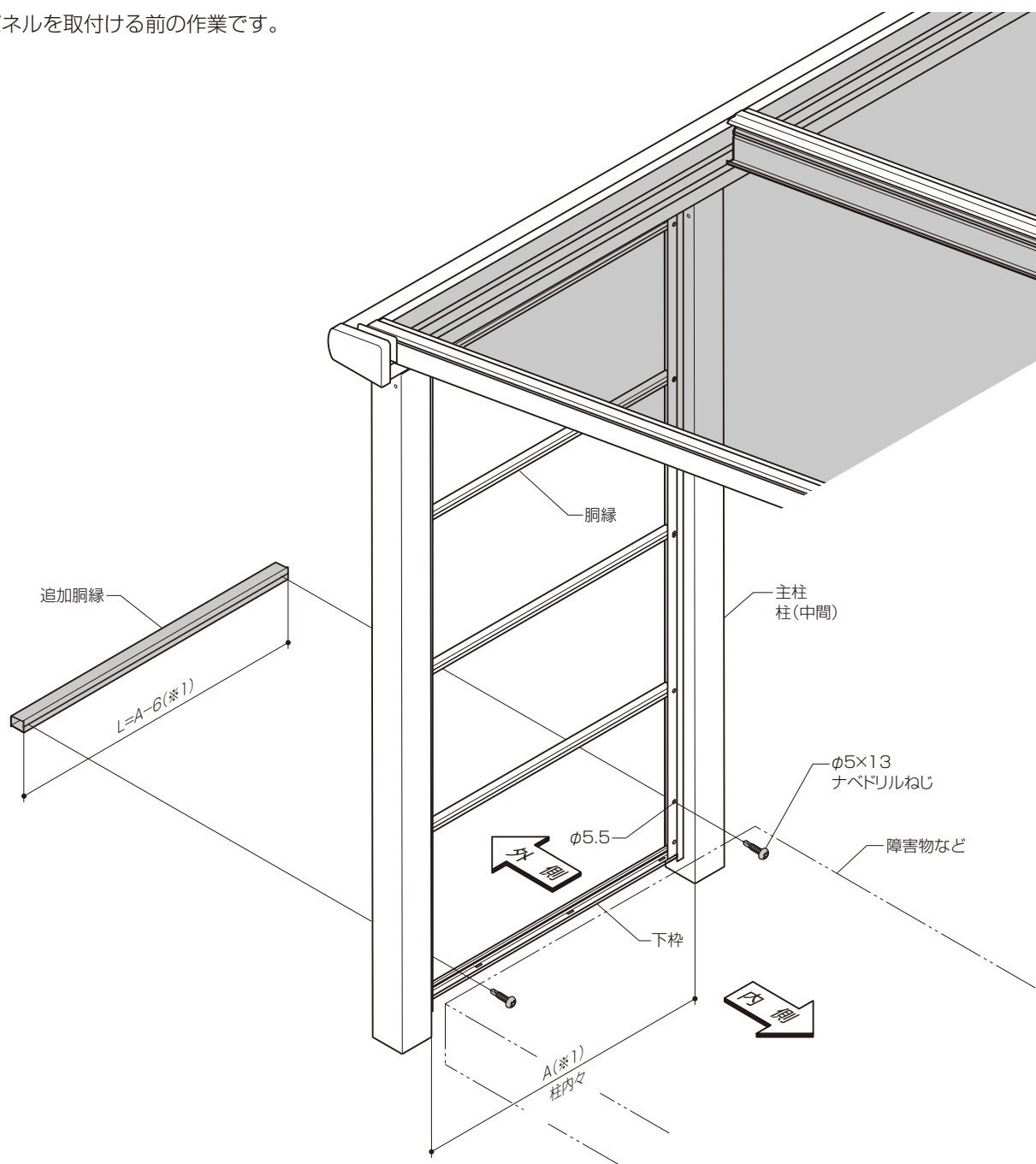
- 柱位置は狂っていないか
- 柱の垂直はでているか
- ドアの開閉ができるか
- ドアを閉めたときの、すき間寸法は均等か

①基礎穴をコンクリートまたはモルタルで埋めてください。

追加胴縁の使用方法 オプション

※波板パネルを取付ける前の作業です。

本体の施工



ポイント

●追加胴縁は、ストックヤード内側に障害物があり、下枠に波板固定ねじが施工できない場合に使用する部材です。障害物を避けた位置に胴縁を追加することができます。

- ①追加胴縁を取付ける高さを決め、縦枠のV溝部にφ5.5の穴加工をしてください。
- ②柱内々寸法Aを計測し、追加胴縁を切詰めてください。(※1)
- ③追加胴縁を取付けてください。

取説コード

E420

JZZ631025D
201511A_1047
202301E_1047